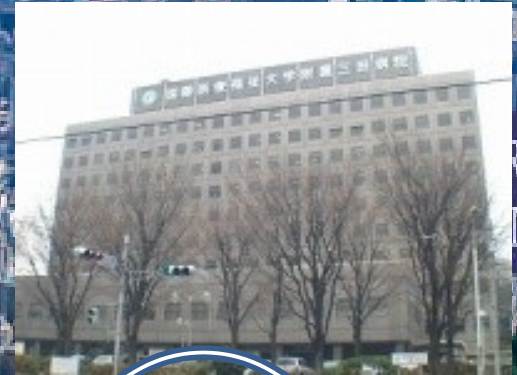


# DPC病院の課題と現状

～青森県立中央病院の現状を踏まえて～

国際医療福祉総合研究所長  
国際医療福祉大学大学院 教授  
(株)医療福祉経営審査機構CEO  
(株)医療福祉総合研究所社長  
武藤正樹



## 国際医療福祉大学三田病院

2005年旧東京専売病院より継承

医師数120名、290床、

平均在院日数10日

入院単価65、000円

2007年より東京都認定がん診療病院

2008年よりDPC対象病院

# 国際医療福祉大学・高邦会グループの概要

平成7年栃木県大田原市に、日本初の保健・医療・福祉分野の総合大学として設立。看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、社会福祉士、介護福祉士、薬剤師等のメディカル・スタッフを育成している。

## 国際医療福祉大学 大学院(東京青山 キャンパス)



## 東京本部 (乃木坂)

総務部  
人事部  
企画部  
医療管理部



## 大学院 医療福祉学研究科

大学院 医療福祉学研究科

修士課程:保健医療学専攻、医療福祉経営専攻

臨床心理学専攻

博士課程:保健医療学専攻

- 栃木本校のほかサテライトキャンパスも設置(東京・小田原・熱海・福岡・大川)
- 同時双方向遠隔授業
- 医療職のための本格的な生涯学習コース、「乃木坂スクール」開講

## 保健医療学部

看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科



大学クリニック(栃木大田原)

## 医療福祉学部

医療経営管理学科、医療福祉学科

## 薬学部

薬学科

## 福岡リハビリテーション学部

(福岡県 大川キャンパス)

理学療法学科、作業療法学科、  
言語聴覚学科(平成19年4月開設)

## 小田原保健医療学部

(神奈川県 小田原キャンパス)

看護学科、理学療法学科、作業療法学科

## 大学附属施設

(269床)



熱海病院

(291床)



三田病院

(206床)



国際医療福祉  
大学病院

(300床)



塩谷病院

# 目次

- パート1
  - 2012年診療報酬改定
- パート2
  - 診療報酬改定とDPC
- パート3
  - DPCと診療材料・ジェネリック医薬品
- パート4
  - DPCと地域医療連携



# パート1

## 2012年診療報酬改定



「日医外し」で中医協はどのように変わるのか

# 2010年度診療報酬改定

• 全体改定率 +0.19%

700億円

• 1 診療報酬改定(本体)

• 改定率 +1.55%

5700億円

– 各科改定率 医科 +1.74%

• (入院 +3.03%、外来 +0.31%)

• 歯科 +2.09%

• 調剤 +0.52%

4400億円  
うち急性期病  
院4000億円

• 2 薬価改定等

– 改定率 ▲1.36%

5000億円

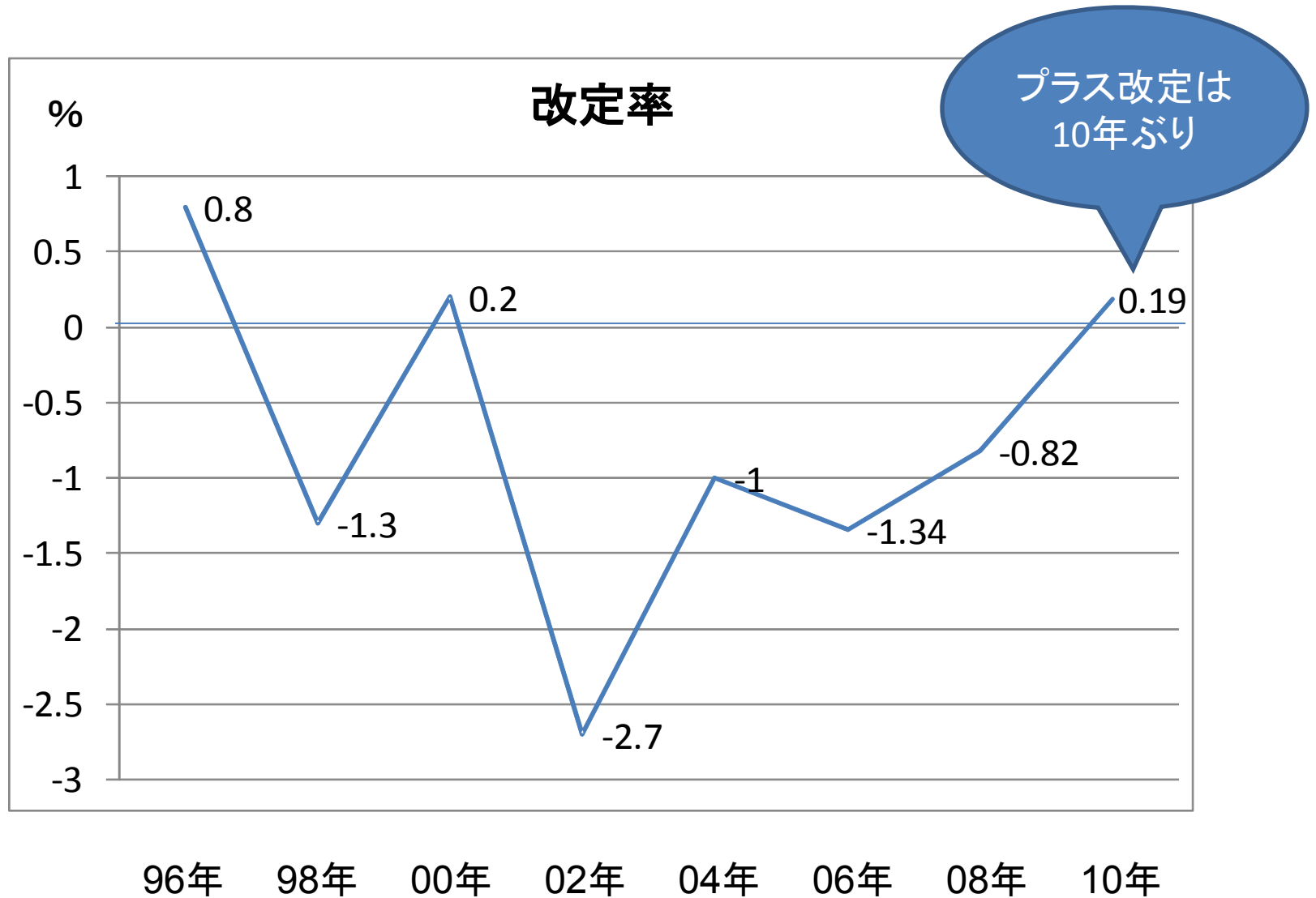
– 薬価改定 ▲1.23%(薬価ベース ▲5.75%)

– 材料価格改定 ▲0.13%

# 2010年度診療報酬改定の基本方針

- 重点課題
  - ①救急、産科、小児、外科等の医療の再建
  - ②病院勤務医の負担の軽減
- 4つの視点
  - ①充実が求められる領域を適切に評価していく視点
  - ②患者からみて分かりやすく納得でき、安心・安全で、生活の質にも配慮した医療を実現する視点
  - ③医療と介護の機能分化と連携の推進等を通じて、質が高く効率的な医療を実現する視点
  - ④効率化余地があると思われる領域を適正化する視点
- (2009年11月25日社会保障審議会の医療保険部会)

# 診療報酬改定率





# 2012年は診療報酬・介護報酬 ダブル改訂の年



4月20日中医協

# 3月11日東日本大震災



# ダブル改定はあるのか？

## 関係団体の意見

- 日本病院会
  - 「改訂は粛々で行うべき」(4月23日 常任理事会)
- 日本精神科病院協会
  - 「改訂は延期すべき」(4月25日 山崎会長)
- 日本医療法人協会
  - 「延期も考慮すべき」という意見が大勢(4月16日 常任理事会)
- 全日本病院協会
  - 「未提示」(4月16日 常任理事会)
- 日本医師会
  - 「改訂延期とするもその後反対意見続出」(4月27日代議員会)

# 同時改定予定どおり実施

- 細川厚生労働大臣は「定期的に改定を行うことは、医療や介護制度にとって重要なことで、実施を延期することは考えていない」(6月3日)

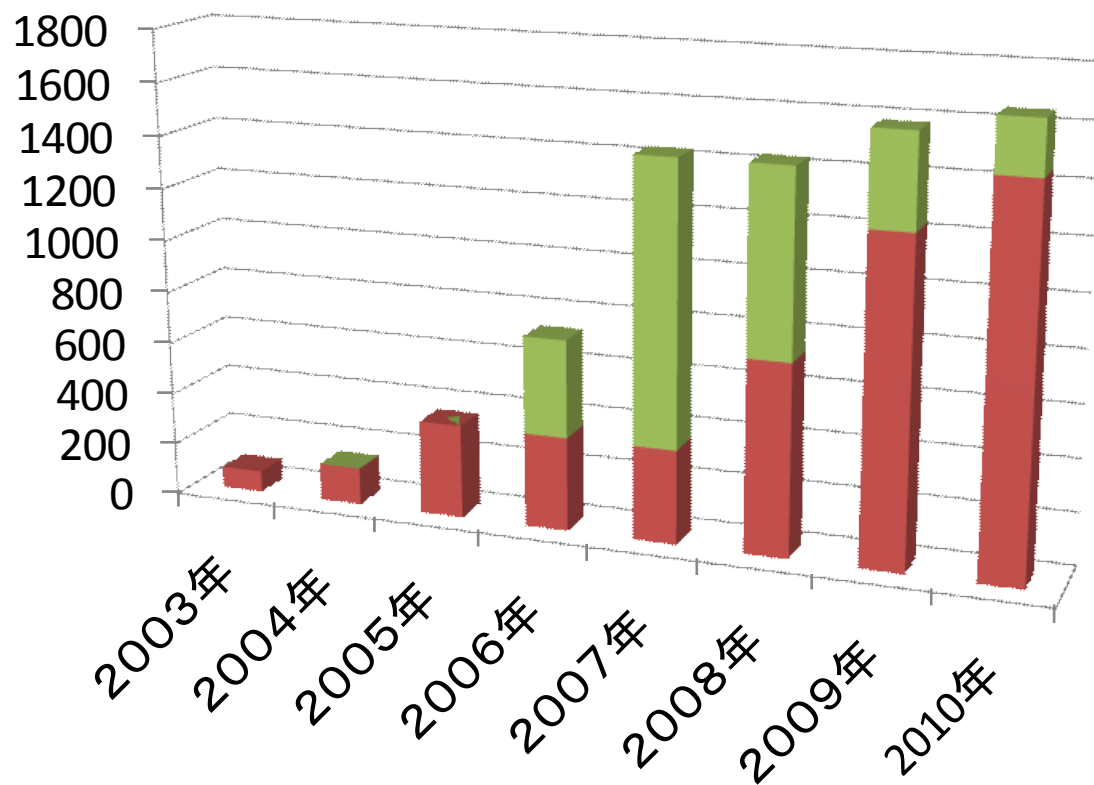


細川厚生労働大臣

# パート2

## 診療報酬改定とDPC

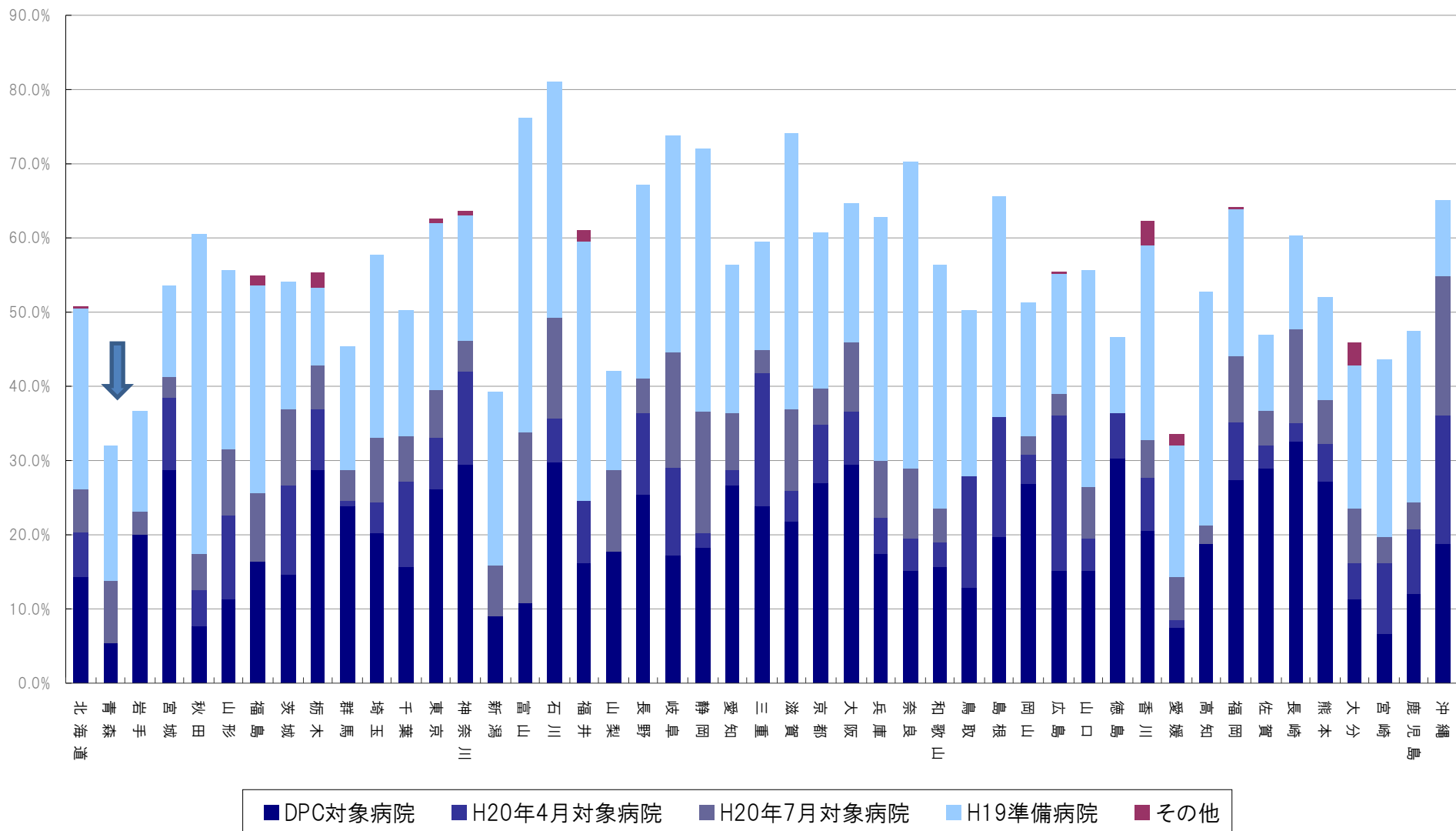
# DPC/PDPS関連病院の拡大 1650病院、50万床へ



2011年4月から  
DPC対象病院数  
1449病院  
DPC準備病院  
201病院  
合計 1650病院(50万床)

■ D P C準備病院  
■ D P C準備病院

# 一般病床に占めるDPC関連病床割合



# DPCにおける 診療報酬支払い方式





### 3. DPC制度における診療報酬

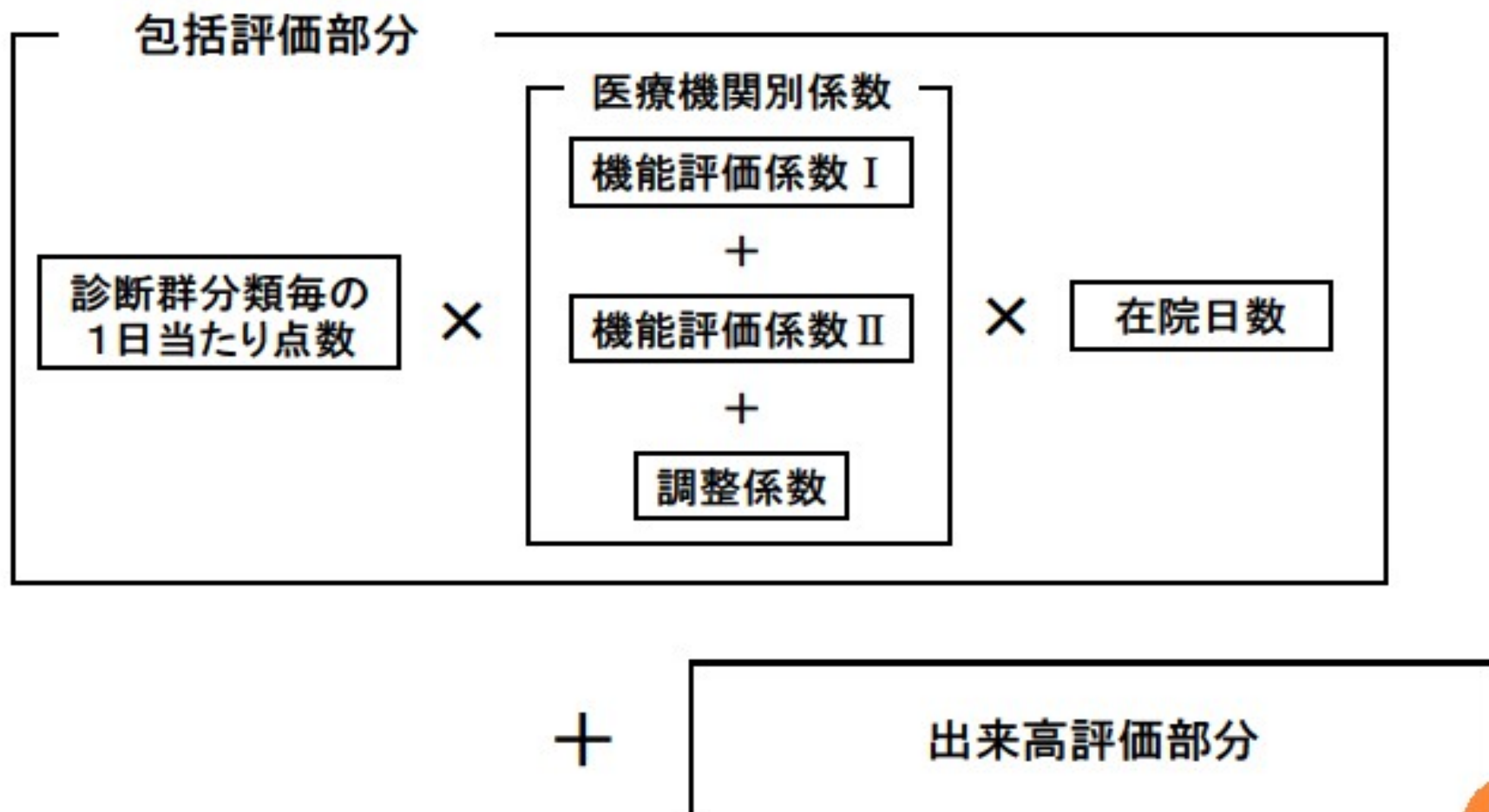


#### DPC制度における診療報酬の額

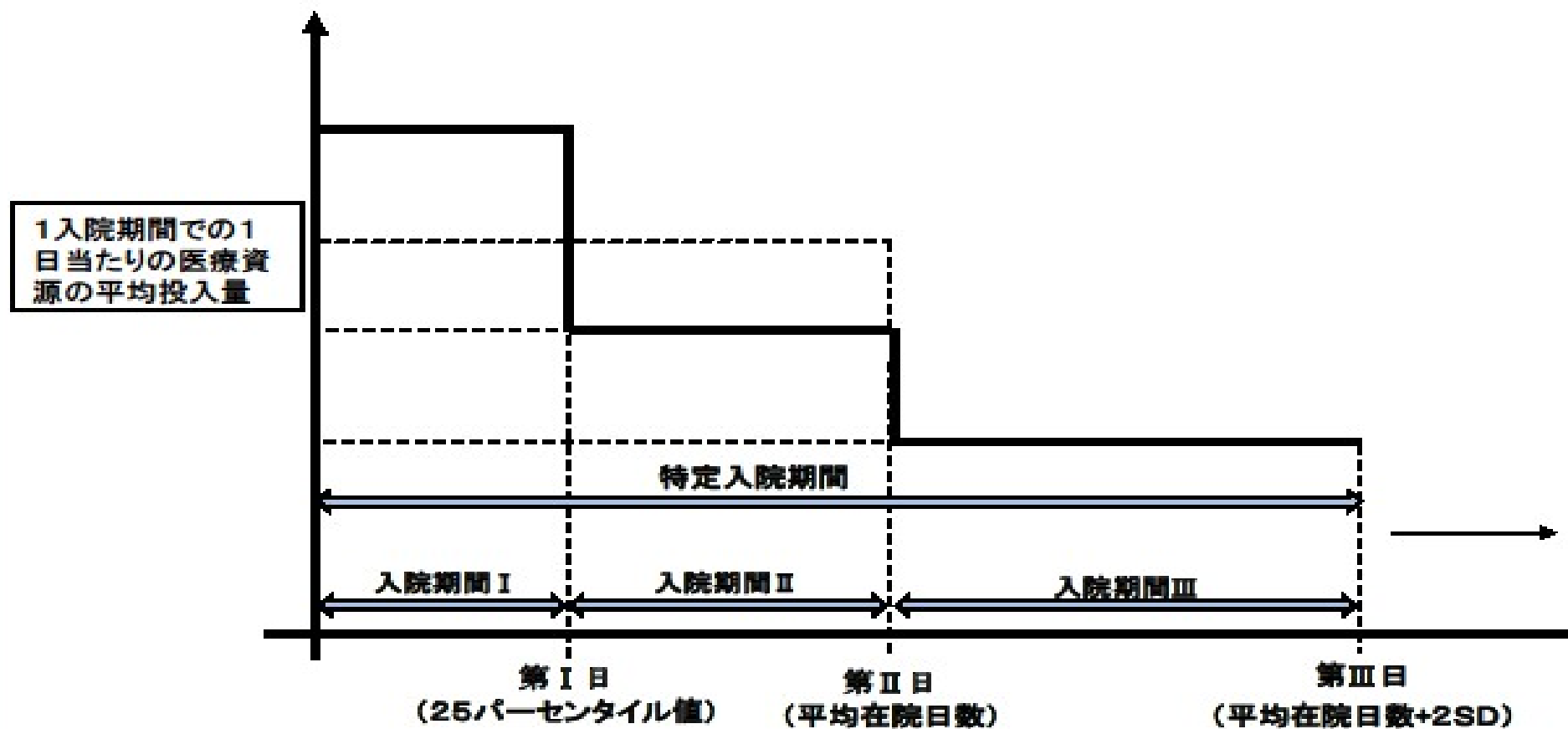
診療報酬 = 包括評価部分 + 出来高評価部分

- ・ 包括評価部分  
入院基本料、検査(一部を除く)、投薬、注射、等  
「診断群分類」毎の1日当たりの包括評価  
医療機関別係数による評価・調整  
包括範囲点数  
= 診断群分類毎の1日当たり点数 × 医療機関別係数 × 在院日数
- ・ 出来高評価部分  
手術料、麻酔料、等  
「医科点数表」に基づいた評価

## 4. DPC制度における診療報酬の計算



## 5-2. 診断群分類(DPC)点数表における 1日当たり点数の設定



# 2010年DPC報酬改定



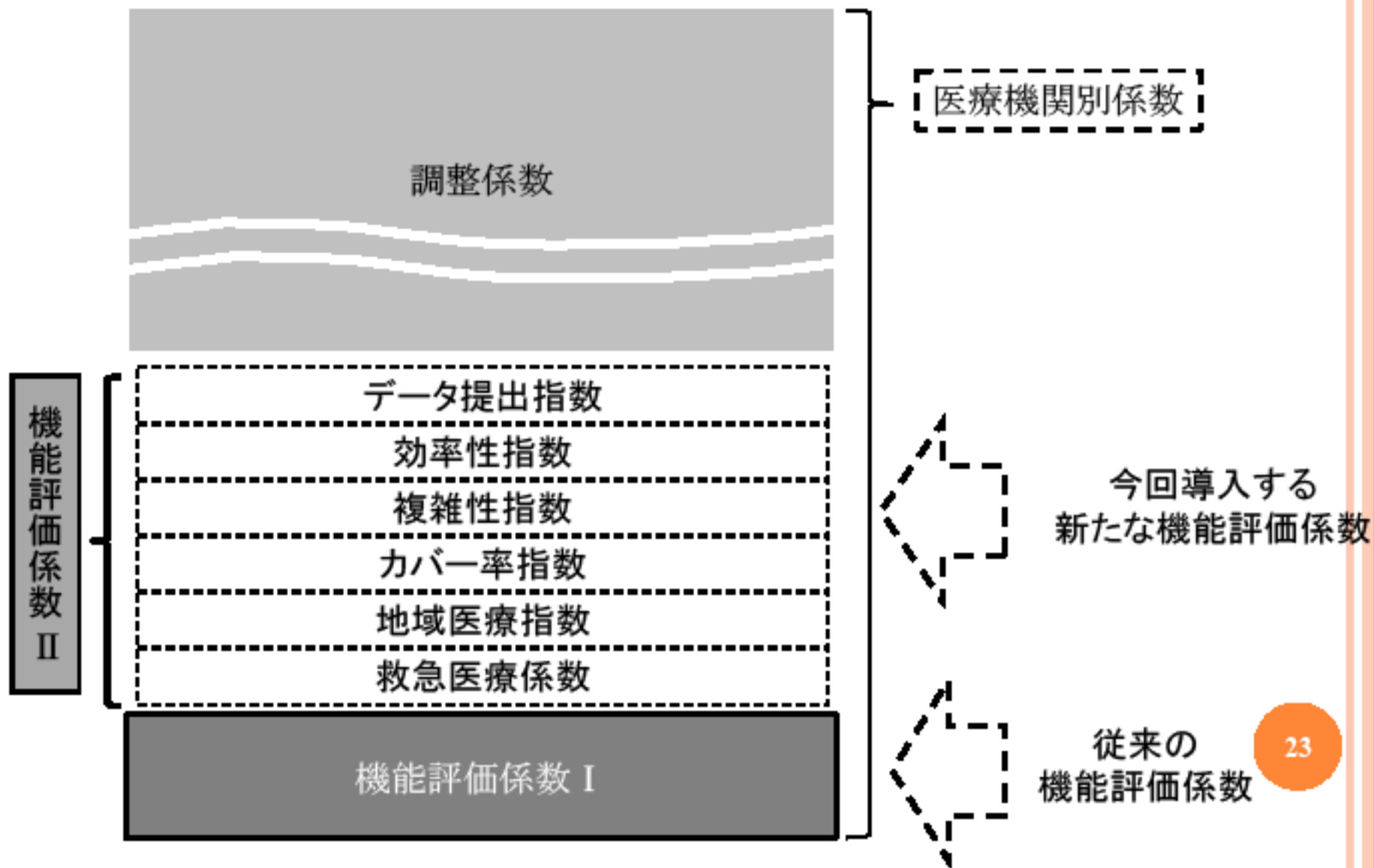
# DPC報酬改定の基本的な考え方

- (1) 診療報酬改定に連動したDPC報酬改定
  - 診断群分類点数表の改定
  - 医療機関別係数の改定
- (2) 調整係数の見直し
  - 調整係数を段階的に新たな機能評価係数への置き換える
- (3) DPC包括範囲見直し
  - 診療実態に即した見直しを行う
- (4) 出来高部分の見直し
  - 手術料の評価

## (2) 調整係数の見直し

新たな機能評価係数の新設

### 3-3. 医療機関別係数の概念図



# 従来の機能評価係数 (機能評価係数 I)

- A 1 0 0 一般病棟入院基本料
- A 2 0 0 総合入院体制加算
- A 2 0 4 地域医療支援病院入院診療加算
- A 2 0 4 - 2 臨床研修病院入院診療加算
- A 2 0 7 診療録管理体制加算
- A 2 0 7 - 2 医師事務作業補助体制加算
- A 2 0 7 - 3 急性期看護補助体制加算
- A 2 1 4 看護補助加算
- A 2 3 4 医療安全対策加算
- A 2 3 4 感染防止対策加算
- D 0 2 6 の注 3 検体検査管理加算 ( I ) ~ ( IV )



# 新機能評価係数（機能評価係数Ⅱ）

- 新機能評価係数

- 調整係数から置き換える割合は25%

- 評価項目は6項目

- ①データ提出指数（正確なデータ提出に係る評価）
- ②効率性指数（効率化に対する評価）
- ③複雑性指数（複雑性指数による評価）
- ④カバー率指数（診断群分類のカバー率による評価）
- ⑤地域医療指数（地域医療への貢献に係る評価）
- ⑥救急医療係数（救急医療野入院初期診療に係る評価）

- 重みづけは「救急医療野入院初期診療に係る評価」を除き、等分に配分

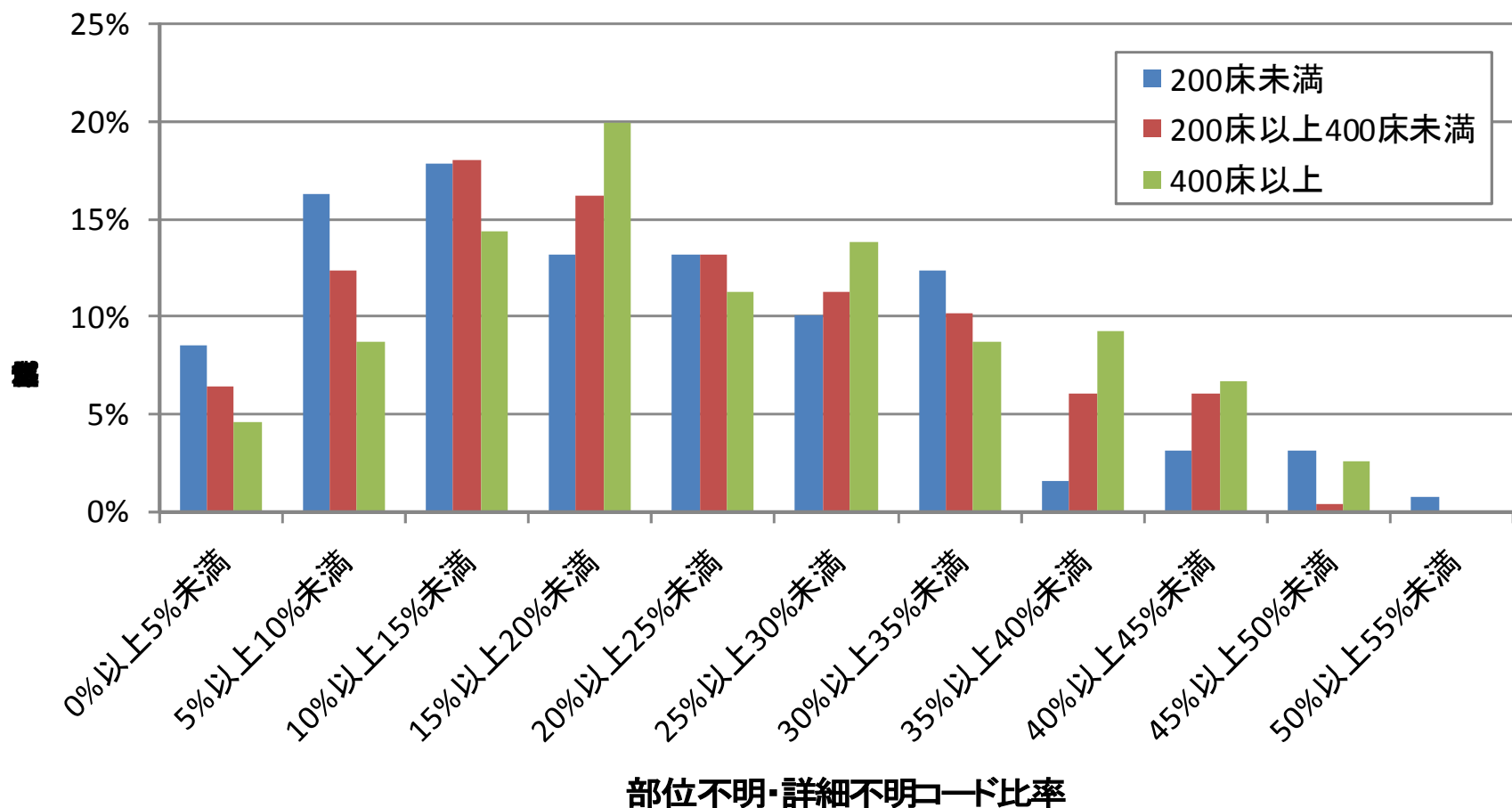
## 3-2. 新たな機能評価係数(機能評価係数Ⅱ)の 具体的項目(1)

項目	名称	評価の考え方	評価方法
1	データ提出指数	対象病院における詳細な診療データの作成・提出に要する体制と、そのデータが活用されることで、医療全体の標準化や透明化等に貢献することを評価	<p>[指数]</p> <p>①「データ提出の遅滞」については、翌々月に当該評価を50%・1ヶ月の間、減じる。</p> <p>②「部位不明・詳細不明のコード使用割合が40%以上」については、当該評価を5%・1年の間、減じる。(平成23年4月より評価)</p> <p>※ 非必須項目の入力状況による評価は行わない。</p>
2	効率性指数	平均在院日数の変動に伴う病棟業務量の増減について、患者の疾病構造の違いを補正した在院日数の相対値により評価	<p>[指数]</p> $= \frac{\text{〔全DPC対象病院の平均在院日数〕}}{\text{〔当該医療機関の患者構成が、全DPC対象病院と同じと仮定した場合の平均在院日数〕}}$ <p>※ 当該医療機関において、10症例(10か月)以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</p> <p>※ 包括評価の対象となっている診断群分類のみを計算対象とする。</p>
3	複雑性指数	対象病院における診療の複雑さについて、当該病院における一入院あたり包括点数の相対値により評価	<p>[指数]</p> $= \frac{\text{〔当該医療機関の包括点数(一入院あたり)を、診断群分類ごとに全病院の平均包括点数に置き換えた点数〕}}{\text{〔全病院の平均一入院あたり包括点数〕}}$ <p>※ 当該医療機関において、10症例(10か月)以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</p> <p>※ 包括評価の対象となっている診断群分類のみを計算対象とする。</p>
4	カバー率指数	様々な疾患に対応できる総合的な体制について、当該病院で算定している診断群分類の広がり(種類の多さ)により評価	<p>[指数]</p> $= \frac{\text{〔当該医療機関で一定症例数以上算定している診断群分類数〕}}{\text{〔全診断群分類数〕}}$ <p>※ 当該医療機関において、10症例(10か月)以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</p> <p>※ すべて(包括評価の対象・対象外の両方を含む)の診断群分類を計算対象とする。</p>

## 3-2. 新たな機能評価係数(機能評価係数Ⅱ)の 具体的項目(2)

項目	名称	評価の考え方	評価方法
5	地域医療指数	地域医療への貢献による評価	<p>[指数] = 以下の各項目ごとに1ポイントを加算した総ポイント数(0~7ポイント)(平成22年8月より評価)</p> <p>①「脳卒中」について、脳卒中を対象とする「B005-2地域連携診療計画管理料」、「B005-3地域連携診療計画退院時指導料(Ⅰ)」又は「B005-3-2地域連携診療計画退院時指導料(Ⅱ)」を算定している医療機関を評価</p> <p>②「がん」について、「B005-6がん治療連携計画策定料」又は「B005-6-2がん治療連携指導料」を算定している医療機関を評価</p> <p>③「がん」について、地域がん登録への参画の有無を評価</p> <p>④「救急医療」について、医療計画上定められている二次救急医療機関であって病院群輪番制への参加施設、拠点型若しくは共同利用型の施設又は救急救命センターを評価</p> <p>⑤「災害時における医療」について、DMAT(災害派遣医療チーム)指定の有無を評価</p> <p>⑥「へき地の医療」について、へき地医療拠点病院の指定又は社会医療法人認可におけるへき地医療の要件を満たしていることを評価</p> <p>⑦「周産期医療」について、総合周産期母子医療センター又は地域周産期母子医療センターの指定の有無を評価</p>
6	救急医療係数	包括点数では評価が困難な救急入院初期の検査等について、救急患者に占める割合により評価	<p>[指数] = 緊急入院患者と全入院患者の入院2日目までの包括範囲の費用の差額を、医療機関ごとに診断群分類及び救急患者の数に応じて評価</p>

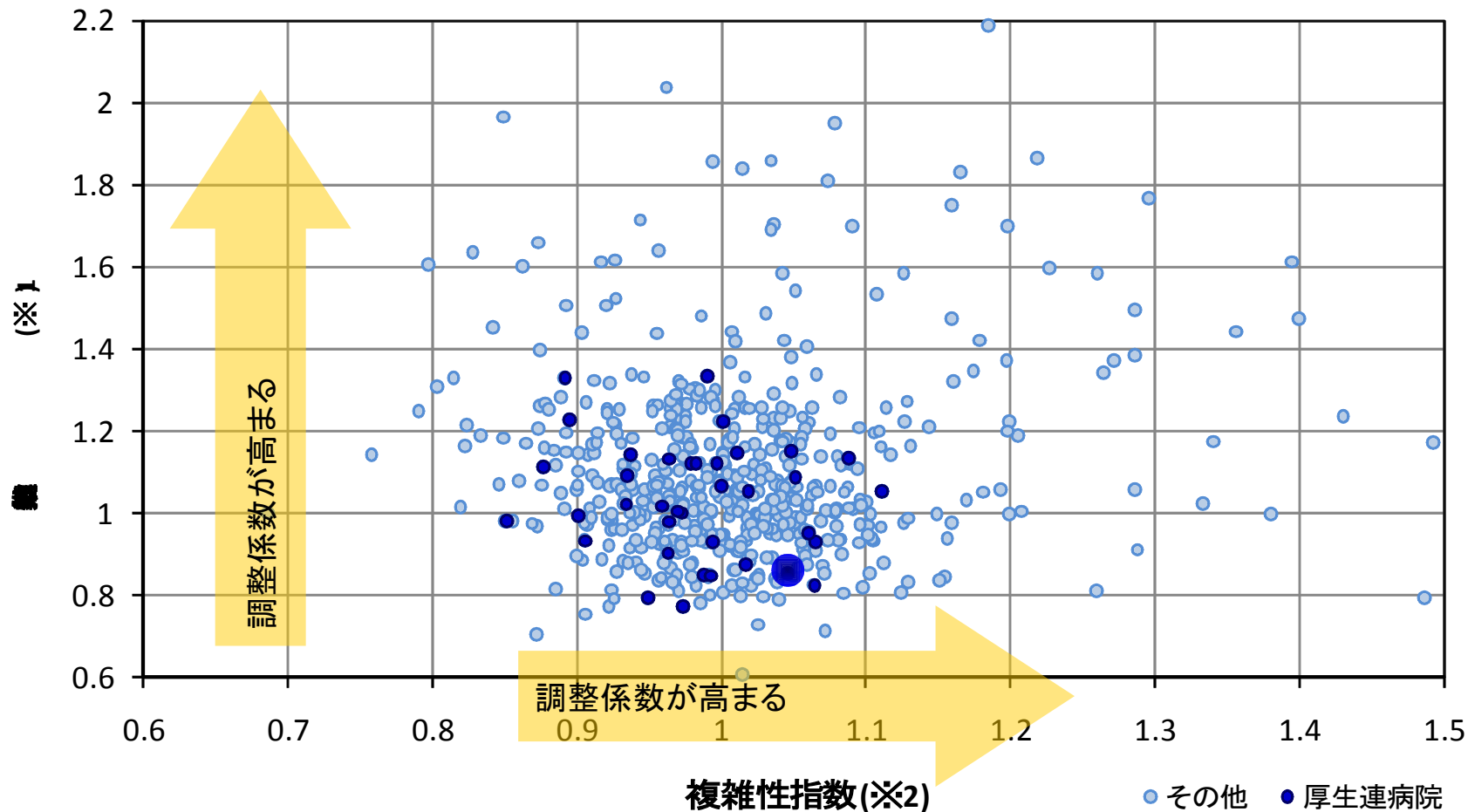
# 1-① DPC 病院として正確なデータを提出していることの評価



(株) メディカルアーキテクト girasol による分析

病床規模別部位不明・詳細不明コードの発生頻度 (2008年7～12月)

# 効率化に対する評価・複雑性指数による評価

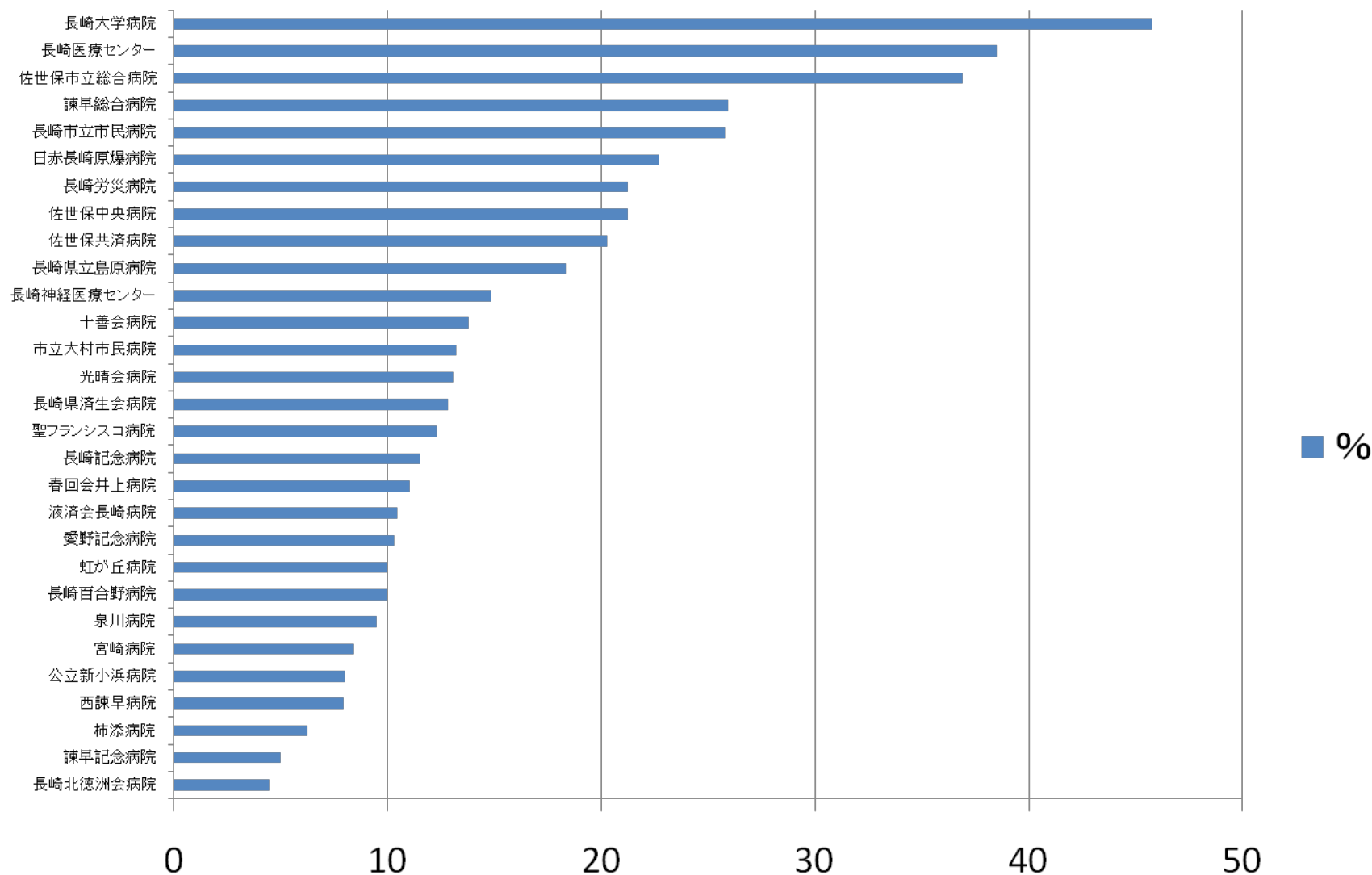


- (※1) girasol データベース内の全病院の ALOS を、当該医療機関の患者構成が girasol データベース内の全病院と同じと仮定した場合の ALOS で除した値。
- (※2) 当該医療機関の各診断群分類毎の在院日数が girasol データベース内の全病院と同じと仮定した場合の ALOS を、 girasol データベース内の全病院の ALOS で除した値。
- 注: girasol データベース内における効率性指数・複雑性指数であって、厚生労働省が算出する複雑性指数・効率性指数とは異なる。

(ヒラソルによる)

# 病院別診断群分類カバー率（長崎県）

%



# 新機能係数ランキング

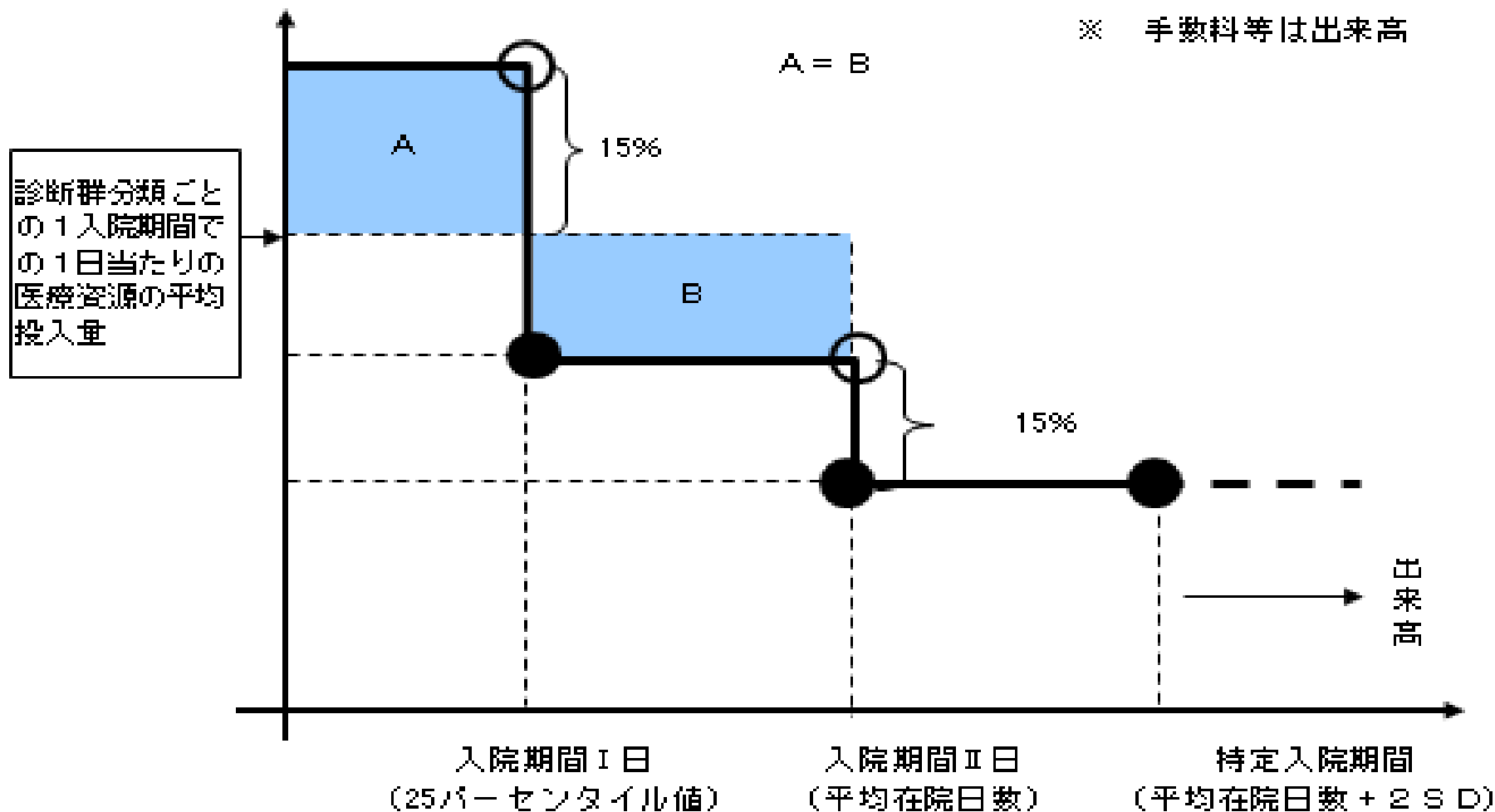
- 5項目でみた新機能係数ランキング
  - 「データ提出指数」「効率性指数」「複雑性指数」「カバー率指数」「救急医療係数」「地域医療指数」
- 済生会熊本病院(熊本市) 0.034
- 国立病院機構熊本医療センター(同) 0.0326
- 徳島赤十字病院(徳島県小松島市) 0.0317
- 沖縄県立中部病院(沖縄県うるま市) 0.031
- 済生会横浜市東部病院(横浜市) 0.0309
- .....
- 国際医療福祉大学三田病院(東京都) 0.0167
- .....
- 最小さい病院 0.0061

### (3) 包括範囲の見直し



(1) 通常の設定方法

包括評価点数の設定方法について



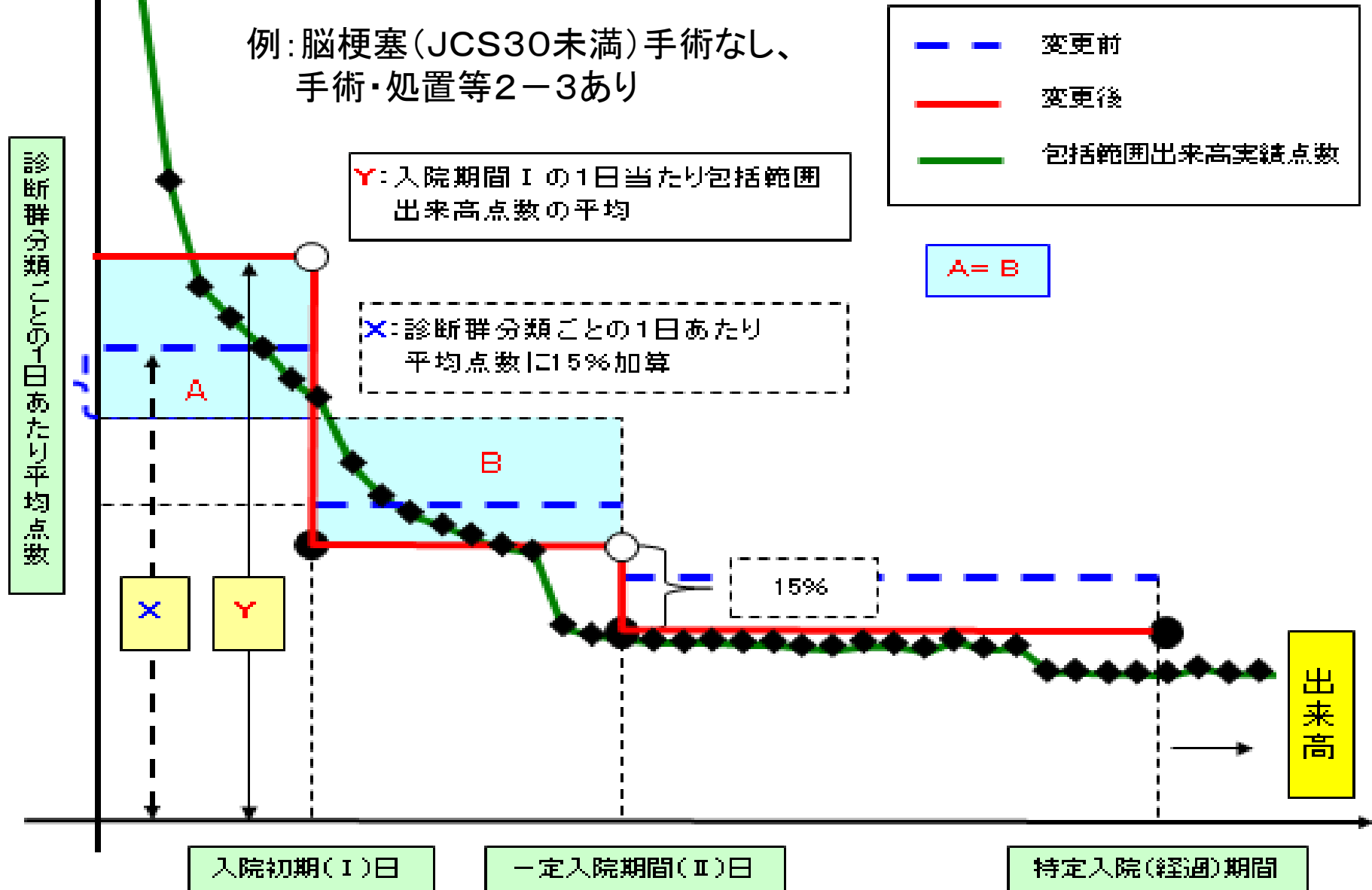
※ 入院期間Ⅰ日までは、診断群分類ごとの1入院期間での1日当たりの医療資源の平均投入量に15%上乗せした点数。

入院期間Ⅰ日からⅡ日までは、入院期間Ⅰ日までに上乗せした点数の合計と同じ合計点数となるように設定した点数を、診断群分類ごとの1入院期間での1日当たりの医療資源の平均投入量から減じた点数。

入院期間Ⅱ日から特定入院期間までは、入院期間Ⅰ日からⅡ日までの点数から15%減じた点数。

【入院初期の医療資源投入量が多い場合】

例：脳梗塞（JCS30未満）手術なし、  
手術・処置等2-3あり

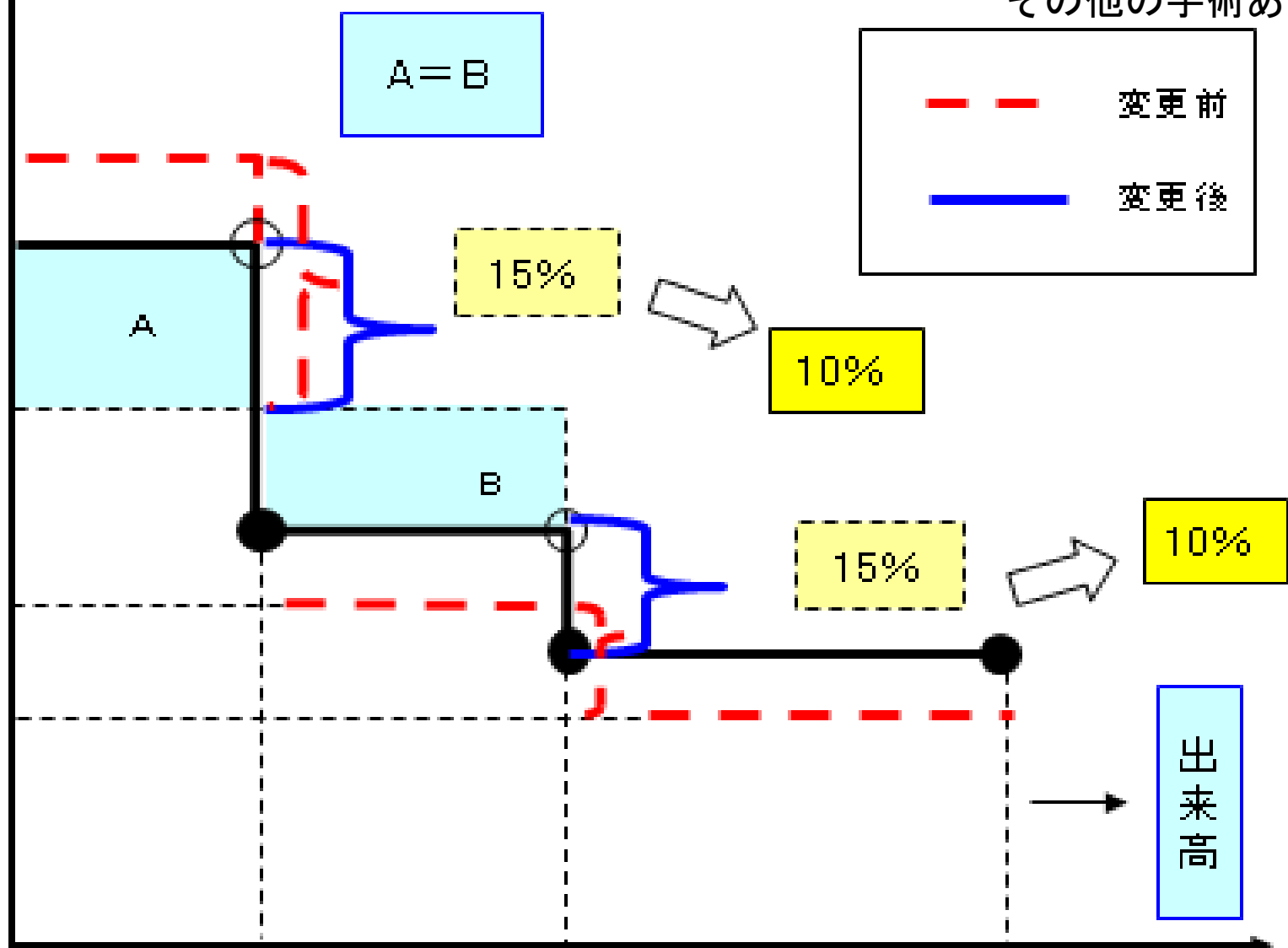


※入院期間I日までの点数は、対象となる診断群分類の入院期間I日までの1日あたり包括範囲出来高点数の平均により設定  
入院期間I日からII日及びII日から特定入院期間までの点数は、入院期間I日までの点数を基に、現行と同様に設定

【入院初期の医療資源投入量が少ない場合】

例：網膜血管閉塞症  
その他の手術あり

診断群分類  
ごとの1日あたり  
平均点数



入院初期 (I) 日      一定入院期間 (II) 日

特定入院 (経過) 期間

出来高

(4) 出来高部分の見直し

# 外保連試案を活用した手術料の引き上げ(2)

## 増点となった手術の例(50%増)

手術名	現行	改定後
肝切除術 拡大葉切除	64,700点	97,050点
胸腔鏡下肺切除術	37,500点	56,250点
大動脈瘤切除術 胸腹部大動脈	111,000点	166,500点
経鼻的下垂体腫瘍摘出術	55,800点	83,700点
子宮悪性腫瘍手術	39,000点	58,500点
膀胱悪性腫瘍手術 全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの)	65,600点	98,400点
喉頭,下咽頭悪性腫瘍手術(頸部,胸部,腹部等の操作による再建を含む)	63,300点	94,950点
関節形成手術 肩,股,膝	26,500点	39,750点
動脈(皮)弁術,筋(皮)弁術	21,900点	32,850点
緑内障手術 流出路再建術	14,200点	21,300点

# 外保連試案を活用した手術料の引き上げ(3)

## 増点となった手術の例(30%増)

手術名	現行	改定後
腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	10,880点	14,140点
内視鏡的胆道ステント留置術	6,830点	8,880点
埋込型除細動器移植術	13,100点	17,030点
定位的脳内血腫除去術	12,200点	15,860点
子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 腹腔鏡	19,600点	25,480点
腎部分切除術	19,300点	25,090点
喉頭悪性腫瘍手術 全摘	30,900点	40,170点
耳下腺腫瘍摘出術 耳下腺深葉摘出術	18,400点	23,920点
人工関節置換術 肩, 股, 膝	22,300点	28,990点
硝子体置換術	4,080点	5,300点

# 様式1の見直し

様式1に患者住所郵便番号が入った

# 平成22年度「様式1」の見直し項目

- **新規**

1. 患者住所の**郵便番号**
2. 身長・体重
3. 入院時・退院時modified Rankin Scale (MDC01)
4. 脳卒中発症時期 (010020-010070)
5. 肺炎の重症度分類 (0400070,0400080)
6. その他:術後合併症、術後創感染の記載?

- **非必須⇒必須、変更**

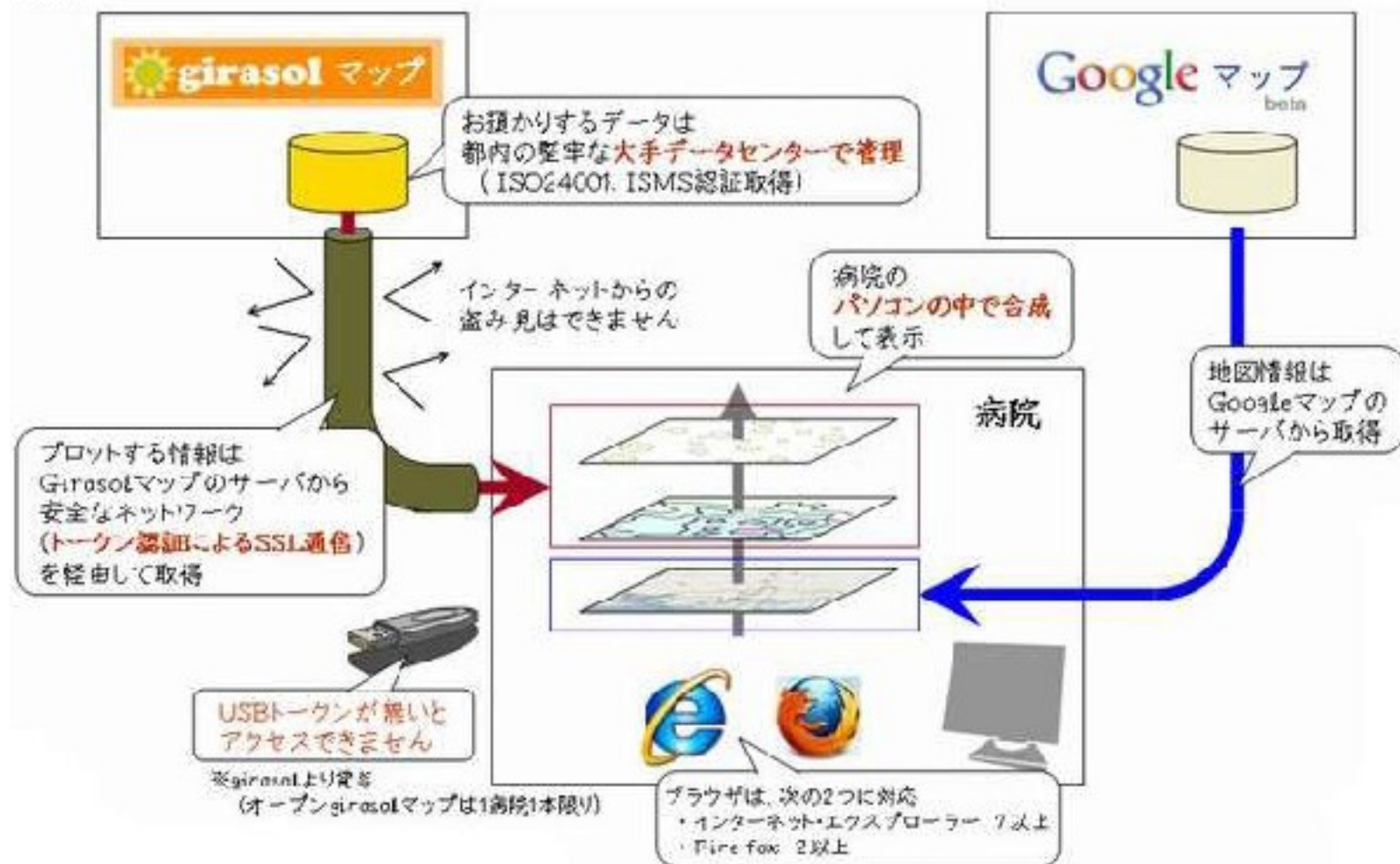
1. 退院先(老健、独居など)
2. 前回退院年月日
3. 喫煙指数
4. 入院時・退院時ADL
5. がんの初発・再発、TNM
6. Hugh-Jones, NYHA, CCS, Killip, Child-Pugh分類, 急性膵炎重症度
7. 精神保健福祉法関連、入院時・退院時GAF分類



# (Girasol mapの手法)

## girasolマップのセキュリティ

Google map を利用しますが、大切なデータは、Google社を含む外部には一切漏洩することはありません。



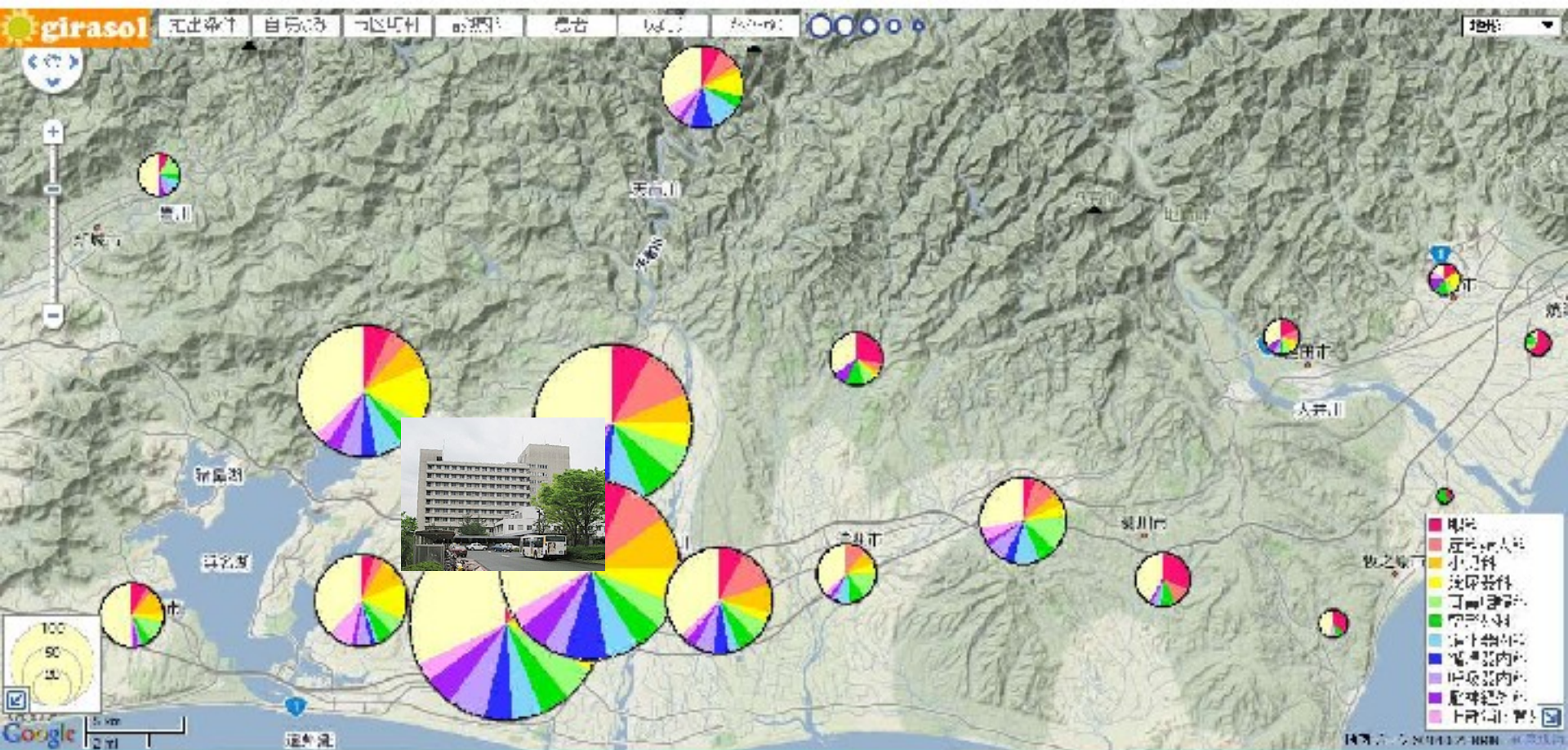
# 浜松医科大学医学部付属病院

## 2010/7-9の患者分布(郵便番号)



地理的問題、競合施設がなければ、同心円状に広がるはずだが...

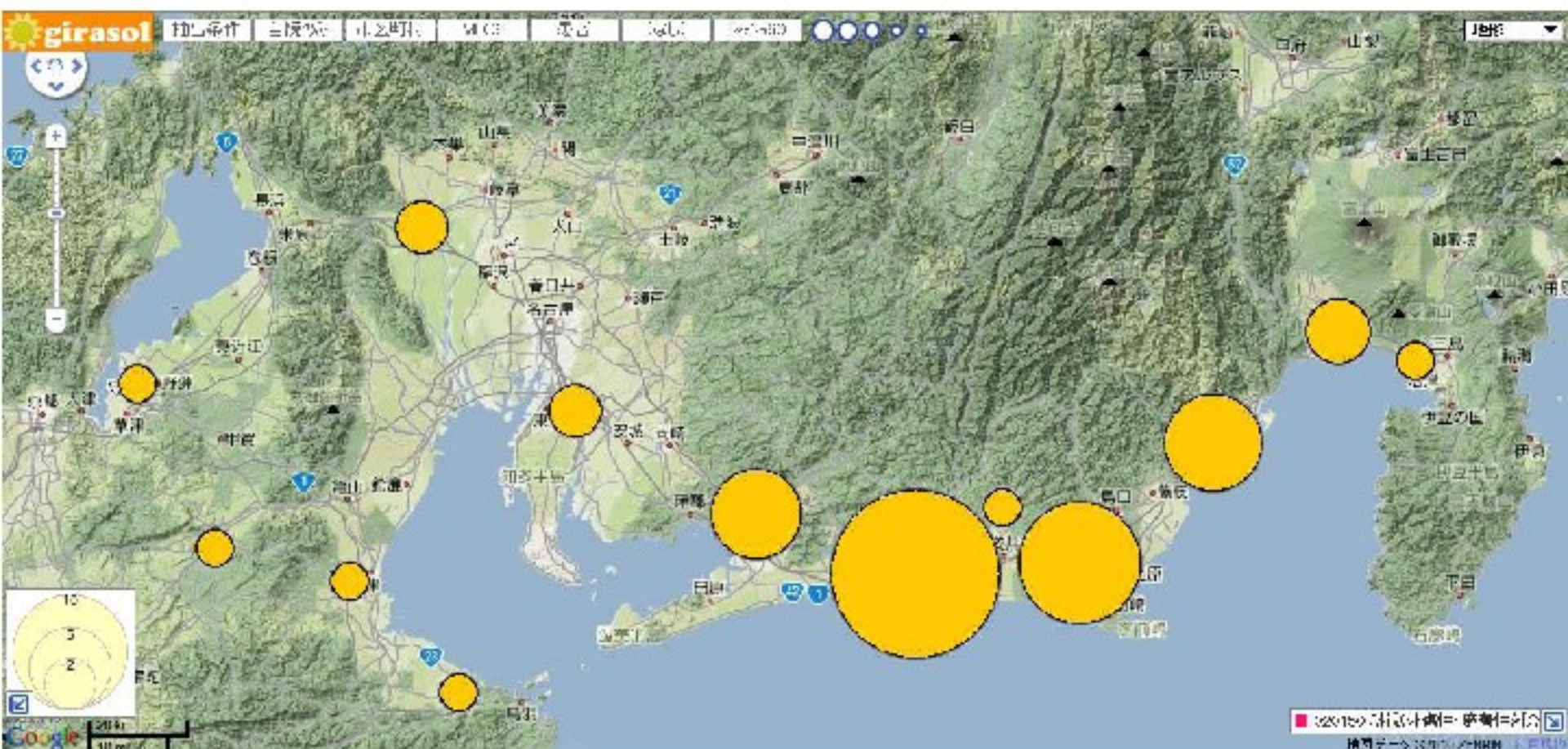
# 2010/7-9の患者分布(市区町村・診療科分布)



近隣は、自院の通常診療科分布となる

遠方から患者が来るには理由がある(医局員の派遣、スター医師の存在)

# 2010/7-9の斜視患者の医療圏



**病院としてスター医師へのインセンティブを！**  
**スター医師の宣伝・広報に努めることが必要では？**

# 様式1からの条件抽出



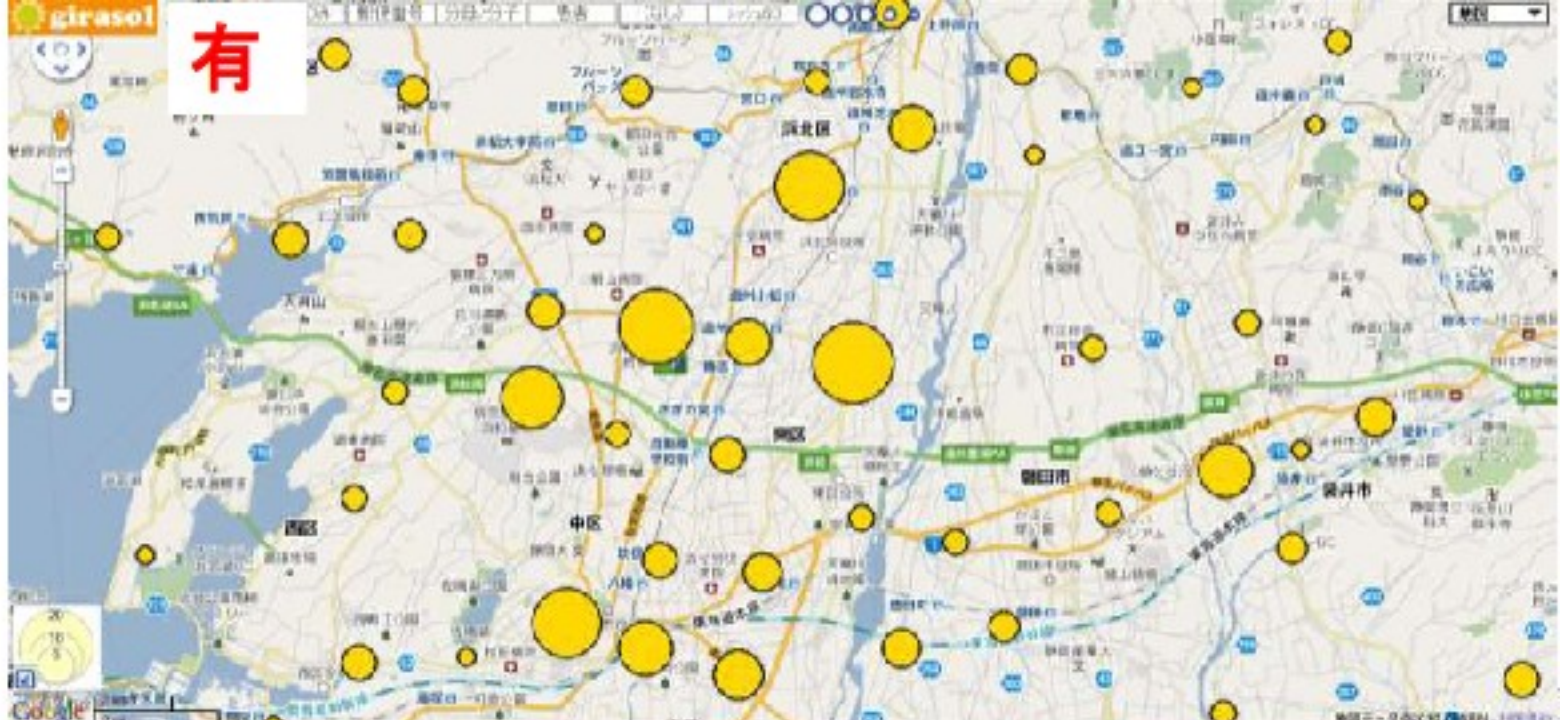
- 基本
- 詳細
- 統計
- その他

【LR病名】【マラリア】【カネマイア】【バネ】【カネ】【マラリア】【バネ】【マラリア】【バネ】

アル	10/20	3/12	UP	あり	外未	地区	打兵
302症例	0102症例	0202急性呼吸器症候群	0302急性呼吸器症候群	0402急性呼吸器症候群	0502急性呼吸器症候群	0602急性呼吸器症候群	0702急性呼吸器症候群
301急性呼吸器症候群	0101急性呼吸器症候群	0201急性呼吸器症候群	0301急性呼吸器症候群	0401急性呼吸器症候群	0501急性呼吸器症候群	0601急性呼吸器症候群	0701急性呼吸器症候群
020病歴	0101病歴	0201病歴	0301病歴	0401病歴	0501病歴	0601病歴	0701病歴
入院日	0101入院日	0201入院日	0301入院日	0401入院日	0501入院日	0601入院日	0701入院日
205病日	0101病日	0201病日	0301病日	0401病日	0501病日	0601病日	0701病日
400転科	0101転科	0201転科	0301転科	0401転科	0501転科	0601転科	0701転科
705入院記録	0101入院記録	0201入院記録	0301入院記録	0401入院記録	0501入院記録	0601入院記録	0701入院記録
307呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
308呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
309緊急入院	0101緊急入院	0201緊急入院	0301緊急入院	0401緊急入院	0501緊急入院	0601緊急入院	0701緊急入院
700検査結果	0101検査結果	0201検査結果	0301検査結果	0401検査結果	0501検査結果	0601検査結果	0701検査結果
0101検査結果	0101検査結果	0201検査結果	0301検査結果	0401検査結果	0501検査結果	0601検査結果	0701検査結果
3122呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
3152呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
3142呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
0152呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
3162呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
3172呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
3182呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
3192呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
3202呼吸器科の入院	0101呼吸器科の入院	0201呼吸器科の入院	0301呼吸器科の入院	0401呼吸器科の入院	0501呼吸器科の入院	0601呼吸器科の入院	0701呼吸器科の入院
入院後症	0101入院後症	0201入院後症	0301入院後症	0401入院後症	0501入院後症	0601入院後症	0701入院後症
入院後01	0101入院後01	0201入院後01	0301入院後01	0401入院後01	0501入院後01	0601入院後01	0701入院後01

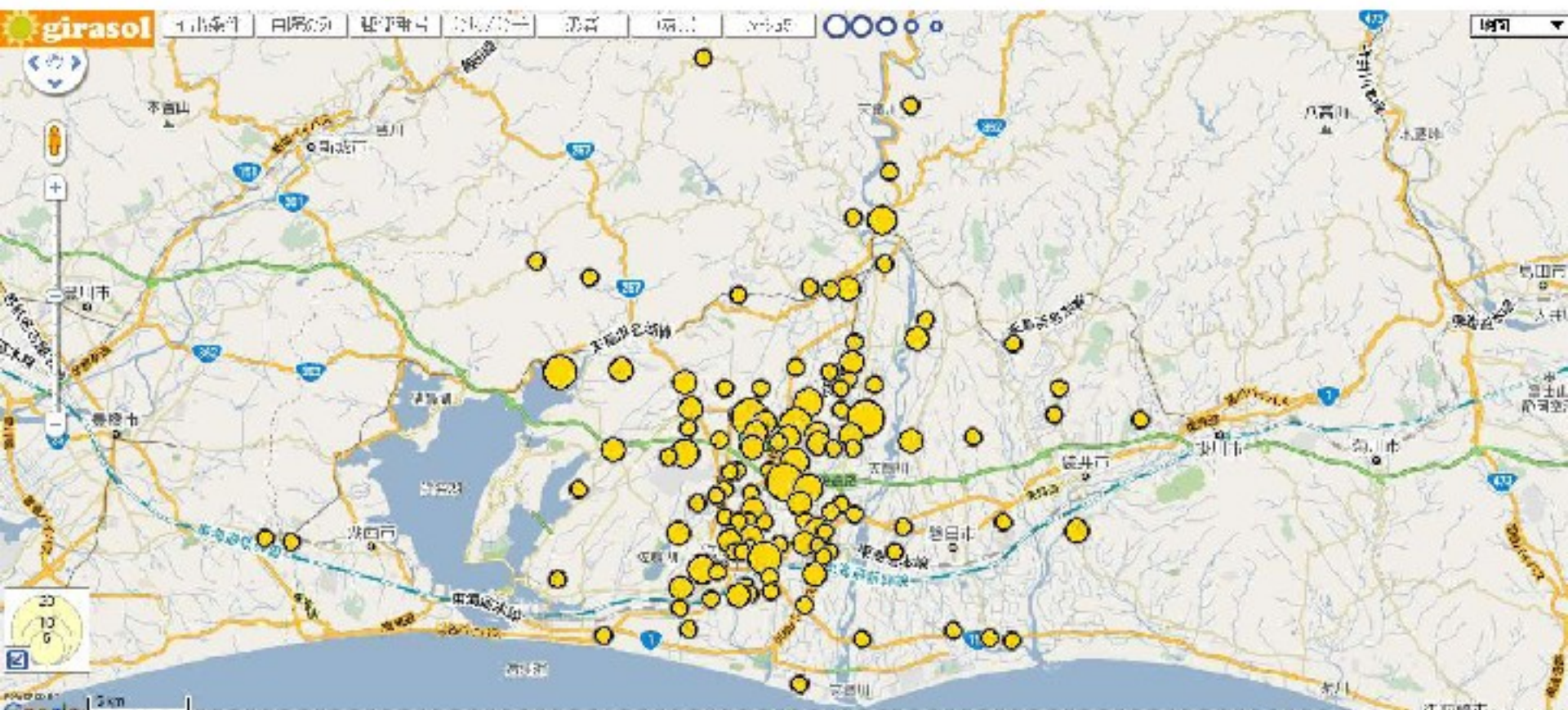
分母: 2017  
 分子: 2017

+病歴 - 検査結果  
 1千 = 10年度



2010/7-9  
 がん患者  
 紹介  
 (有・無)

# 救急車での入院患者(2010/7-9)



救急医療体制(浜松方式):二次救輪番制のため市内全域から来院

## 医療圏内 複数病院のDPC関連情報から分かること

- 地域の疾病分布状況
- 地域医療機関の機能分化？役割分担？
- 患者の動向
- 地域における診療プロセス
- 地域医療機関における薬剤使用状況まで・・・

一例として・・・

浜松の「地域がん診療連携拠点病院」4施設





# 2012年改定とDPC

DPC/PDPS (Per Diem  
Payment System)

新機能係数、基礎係数

現 行

機能評価係数 II

機能評価係数 I

調整係数



見 直 し 後

(新) 機能評価係数 II  
診療実績や医療の質的向上等を評価

機能評価係数 I  
医療機関単位での構造的因子  
(人員配置等) への評価

医療機関  
群 A

基礎係数

医療機関群 B

基礎係数

医療機関  
群 C

基礎係数

基本的な診療機能に対する評価

# 基礎係数（新設）

- **基礎係数**は、機能評価係数Ⅰ、Ⅱでは評価しきれない、基本的な診療機能に対する診療報酬を算定するために導入
- **基礎係数**は、DPC 病院の診療機能（施設特性）を反映させるため、いくつかの医療機関群にわけて、医療機関群で共通の係数とする
- **医療機関群の例**
  - 「医師研修」
    - 臨床研修指定病院
  - 「小児医療提供」
    - 小児病院
  - 「他病棟との連携」
    - ケアミックス型病院

## パート3

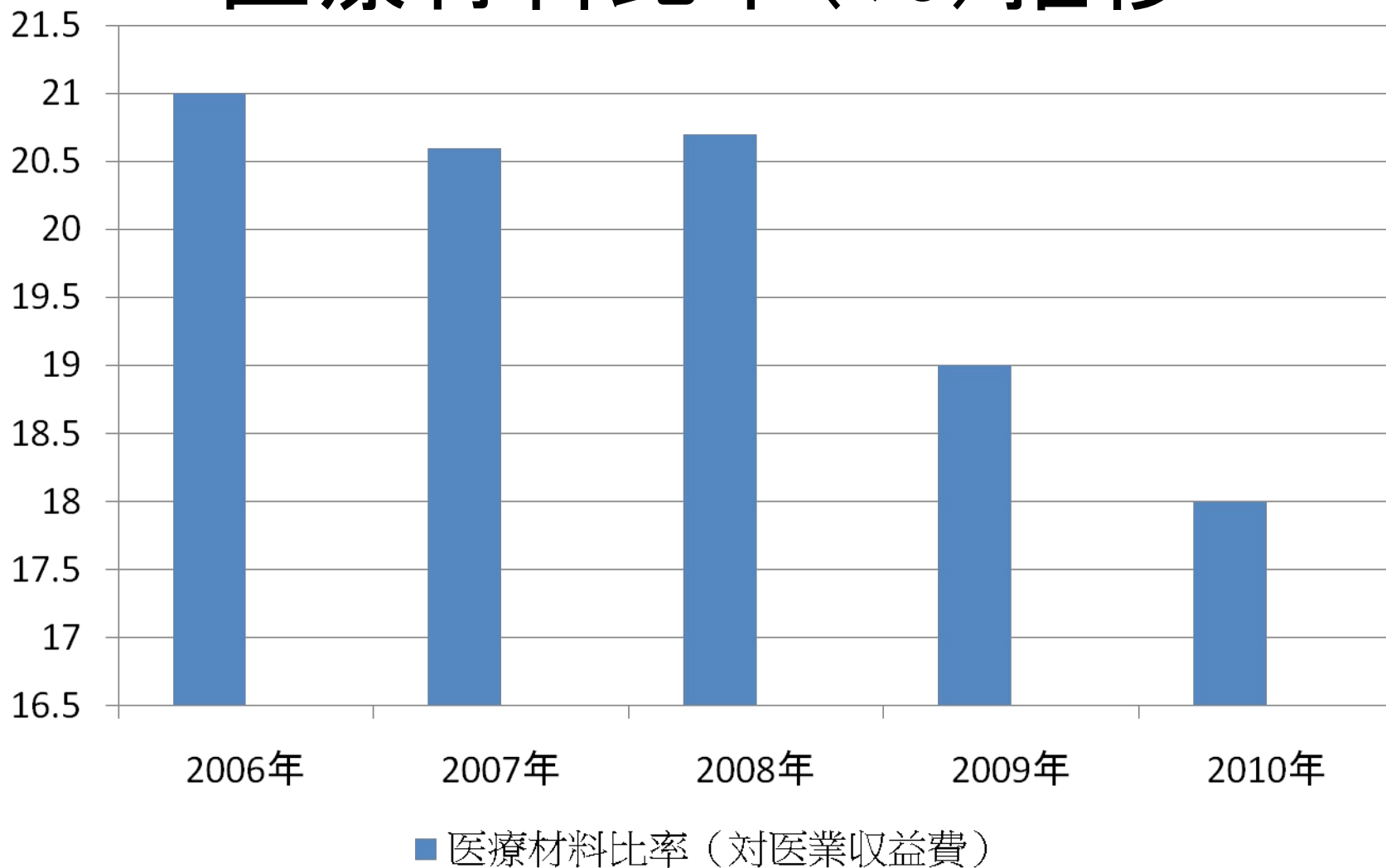
# DPCと診療材料、ジェネリック医薬品



# DPCと診療材料

青森県立中央病院の材料費率

# 青森県立中央病院 医療材料比率(%)推移

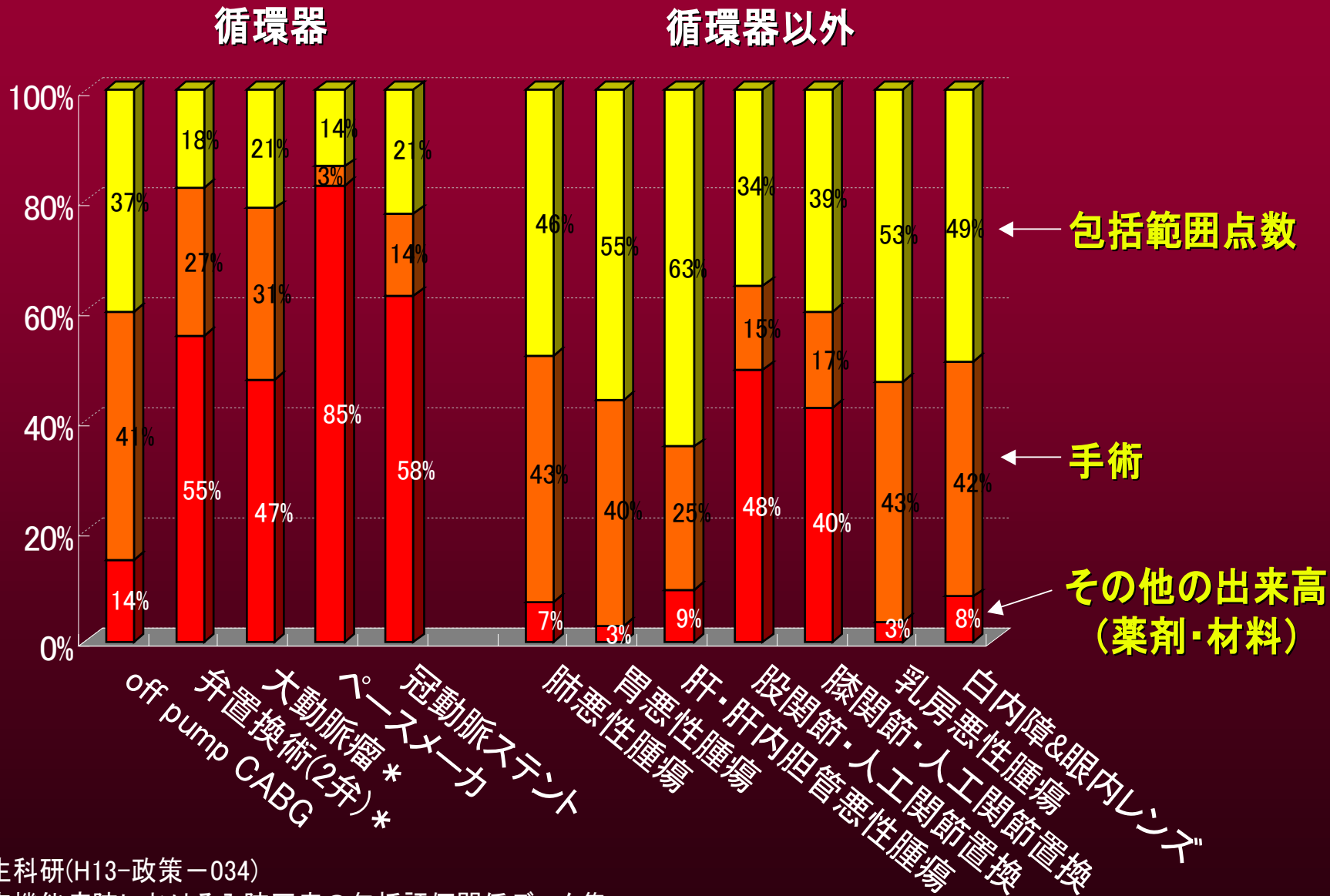


# 医療材料購入上位10品目 (青森県立中央病院)

- 平成22年度購入金額(上位10品目)
  - 1 PCTAカテーテル 165,881,632円
  - 2 人工股関節、人工骨頭 120,896,864円
  - 3 ペースメーカー 100,491,634円
  - 4 血管内手術用カテーテル 98,264,178円
  - 5 血管内挿入用カテーテル・塞栓用 74,270,007円
  - 6 眼科手術装置用アクセサリ 50,172,837円
  - 7 人工膝関節 46,596,781円
  - 8 輸液ポンプ(一般用) 45,686,878円

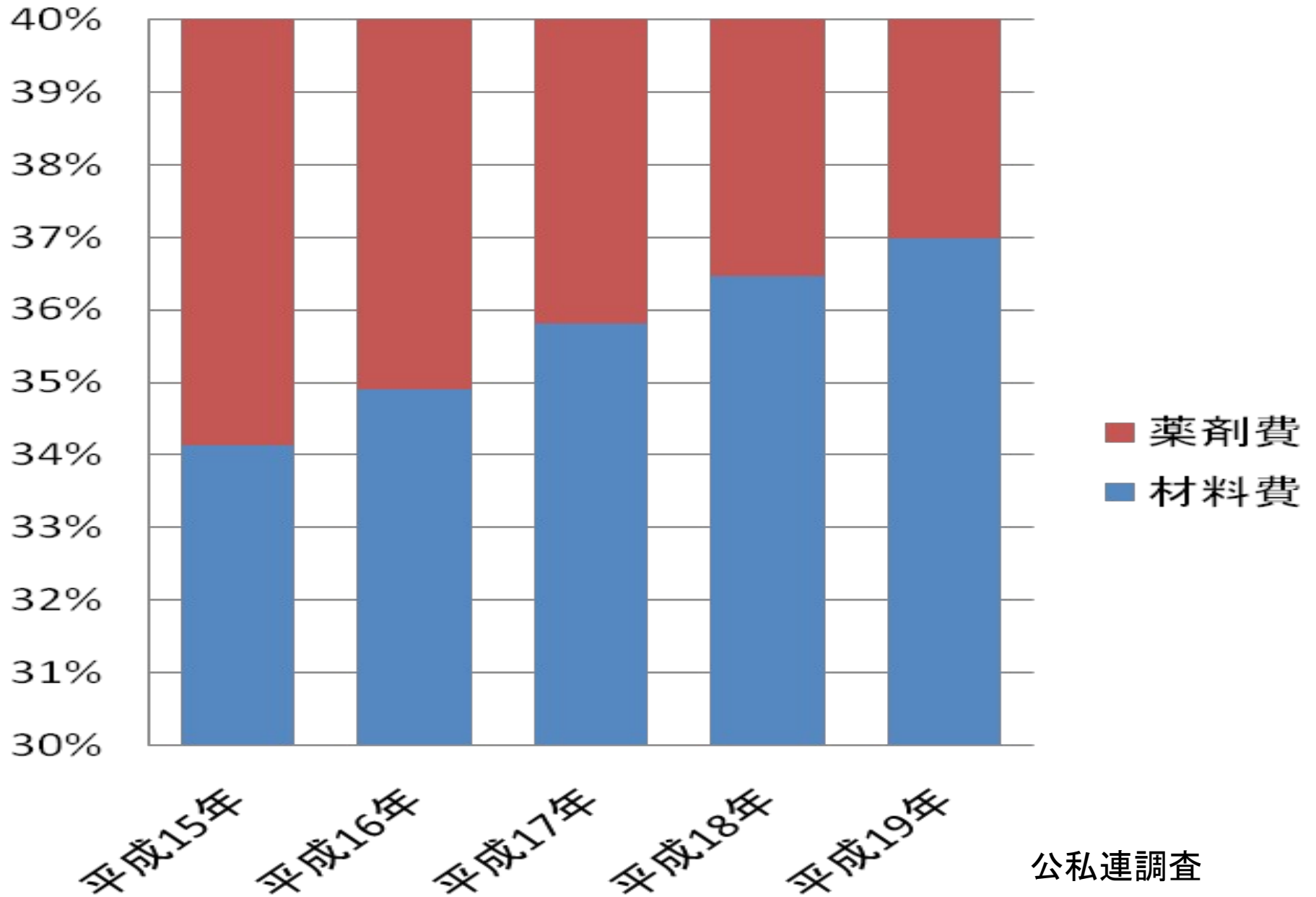


# DPCにおける包括と出来高(手術と材料・薬剤)の比率



資料: 厚生科研(H13-政策-034)  
 特定機能病院における入院医療の包括評価関係データ集  
 \*: 東京女子医科大学データ

# 薬剤費と材料費の比率



# 医療材料費の増大の理由

- 医療材料の技術進歩
  - 薬剤溶出ステント、銀コーティング気管チューブ、持続血糖測定器など
- 手術件数の増加
  - 全国のがんの1か月当たりの手術件数も平成8～17年の間に約20%増加
- 低侵襲的治療法の増加
  - 心臓カテーテルインターベンション、内視鏡的手術

# 包括医療の進展と 医薬品・医療材料の適正化

- DPC病院の増加（一般病床の約50%）
- 療養病床における包括化、外来包括化等
- 医薬品・医療材料費率の適正化
  - － 医薬品の取り組み
    - 医薬品採用品目の絞り込み
    - 共同購入
    - ジェネリック医薬品の導入
  - － 医療材料の取り組み
    - 基本は医薬品と同じだが……

# 医療材料の特徴と課題

- 医療材料の特徴

- 多品種少量製品(数十万種類)
- 保険償還材料と非償還材料がある
- 商品のライフサイクルが短い
- メーカー、卸も中小規模が多い
- 医療機関の医療材料に関する情報化が十分でないため取引先が固定される傾向にあり市場価格競争が十分とはいえない
- 機能性分類、統一コードの課題
- 不具合発生時の追跡等に莫大な労力がかかる

# 医療材料コスト削減ステップ

- ①医療材料の機能分類
  - 同種同効品を明らかにする
- ②医療材料のターゲットを決める
  - パレート分析
- ③医療材料の標準化を行う
  - 医師・看護師による使用適応決めと使用品目の標準化作業
- ④価格交渉
  - メーカーの切り替えや置き換えを前提に交渉
- ⑤モニター
  - 定期的に実態調査、価格モニター

# 用途分類別にパレート分析 この表ができればほとんど成功！

用途分類	合計	累計	シェア	順位
[患者][不特定][－][－][血糖測定][測定用チップ・センサ]	9,345,220	9,345,220	20.3%	1
[スタッフ][－][－][－][手袋][検査・検診用]	2,876,136	12,221,356	26.5%	2
[患者][不特定][－][－][血液浄化][ダイアライザ]	2,345,604	14,566,960	31.6%	3
[患者][不特定][－][－][輸液・輸血][延長チューブ]	1,983,059	16,550,019	35.9%	4
[患者][不特定][－][－][血糖測定][穿刺針]	1,921,874	18,471,893	40.0%	5
[患者][不特定][－][－][その他][オムツ]	1,908,141	20,380,034	44.2%	6
[患者][不特定][－][－][輸液・輸血][輸液セット]	1,399,165	21,779,199	47.2%	7
[患者][特定臓器][泌尿器科][膀胱][吸引・排液][バルーンカテーテル]	1,041,504	22,820,702	49.5%	8
[患者][不特定][－][－][輸液・輸血][注射針]	1,007,040	23,827,742	51.6%	9
[患者][特定臓器][呼吸器系][気管][吸引・排液][吸引カテーテル]	986,630	24,814,372	53.8%	10
[患者][不特定][－][－][輸液・輸血][シリンジ]	936,149	25,750,521	55.8%	11
[患者][不特定][－][－][感染対策][手術キット(カスタム品)]	916,602	26,667,123	57.8%	12
[患者][不特定][－][－][輸液・輸血][留置針]	900,800	27,567,923	59.8%	13
[患者][特定臓器][呼吸器系][気管][気道確保][気管切開チューブ]	796,396	28,364,319	61.5%	14
[患者][不特定][－][－][縫合][針付縫合糸]	782,275	29,146,594	63.2%	15
[患者][不特定][－][－][血液浄化][血液回路]	713,880	29,860,474	64.7%	16
[患者][不特定][内視鏡関連][腹腔・胸腔鏡][専用商品][トロッカー]	669,155	30,529,629	66.2%	17
[患者][不特定][－][－][吸引・排液][排液バック]	620,897	31,150,526	67.5%	18
[患者][不特定][－][－][消毒・洗浄][綿]	613,308	31,763,834	68.9%	19
[患者][不特定][－][－][固定・保護][ドレッシング]	594,832	32,358,666	70.1%	20
[患者][不特定][血行動態モニタリング][－][造影・診断][心電図電極]	589,692	32,948,358	71.4%	21
[スタッフ][－][－][－][－][エプロン]	586,602	33,534,960	72.7%	22
[患者][不特定][－][－][消毒・洗浄][ガーゼ]	525,709	34,060,669	73.8%	23
[患者][不特定][内視鏡関連][腹腔・胸腔鏡][縫合][自動縫合器]	484,177	34,544,846	74.9%	24
[患者][特定臓器][皮膚][皮膚][固定・保護][創傷被覆材]	468,848	35,013,694	75.9%	25





# 用途分類別ABC分析 同種同効品 メッカル分析

## 用途分類別ABC

期間 : 2009/01 ~ 2009/12

NO	用途分類	購買金額	購買シェア	累計	累計シェア	時系列グラフ (同一期間)	単価ベンチマーク (過去12ヶ月)
1	[患者][特定臓器][循環器系][心臓][経皮的冠動脈形成術][ステント]	30,485,028	18.4%	30,485,028	18.4%		
2	[器械専用雑品][検査][専用試薬]	9,875,783.8	5.9%	40,160,811.6	24.3%		
3	[患者][不特定][画像診断][フィルム]	8,179,000	4.9%	48,334,711.6	29.2%		
4	[患者][特定臓器][循環器系][心臓][経皮的冠動脈形成術][バルーンカテーテル]	6,000,000	3.6%	54,334,887.6	32.9%		
5	[患者][不特定][輸液・輸血][輸液セット]	5,000,000	3.0%	59,334,887.6	36.2%		
6	[器械専用雑品][検査][専用消耗品]	4,000,000	2.4%	63,334,887.6	38.8%		
7	[患者]	3,000,000	1.8%	66,334,887.6	40.6%		
8	[患者]	3,077,060	1.9%	70,572,763.8	42.5%		
9	[患者]	3,071,187	1.9%	73,643,950.8	44.5%		
10	[患者]	3,016,650	1.8%	76,660,600.8	46.4%		
11	[患者][不特定][感染対策][手術キット(カスタム品)]	2,891,297.5	1.7%	79,551,898.3	48.1%		
12	[患者][不特定][縫合][針付縫合系]	2,758,550.9	1.7%	82,310,449.2	49.8%		
13	[患者][不特定][輸液・輸血][延長チューブ]	2,699,274.2	1.6%	85,009,723.4	51.4%		
14	[患者][不特定][縫合][自動縫合器]	2,447,333	1.5%	87,457,056.4	52.9%		
15	[患者][不特定][画像診断][カラープリントバック]	2,409,197	1.5%	89,866,253.4	54.3%		
16	[器械専用雑品][洗浄][消毒剤]	2,337,264.3	1.4%	92,203,517.7	55.8%		

•クリックすると商品群の内訳を表示

•用途分類別の購買金額と構成比

•単価ベンチマークボタン  
•詳細は次画面

# 手袋使用適応と種類を決める

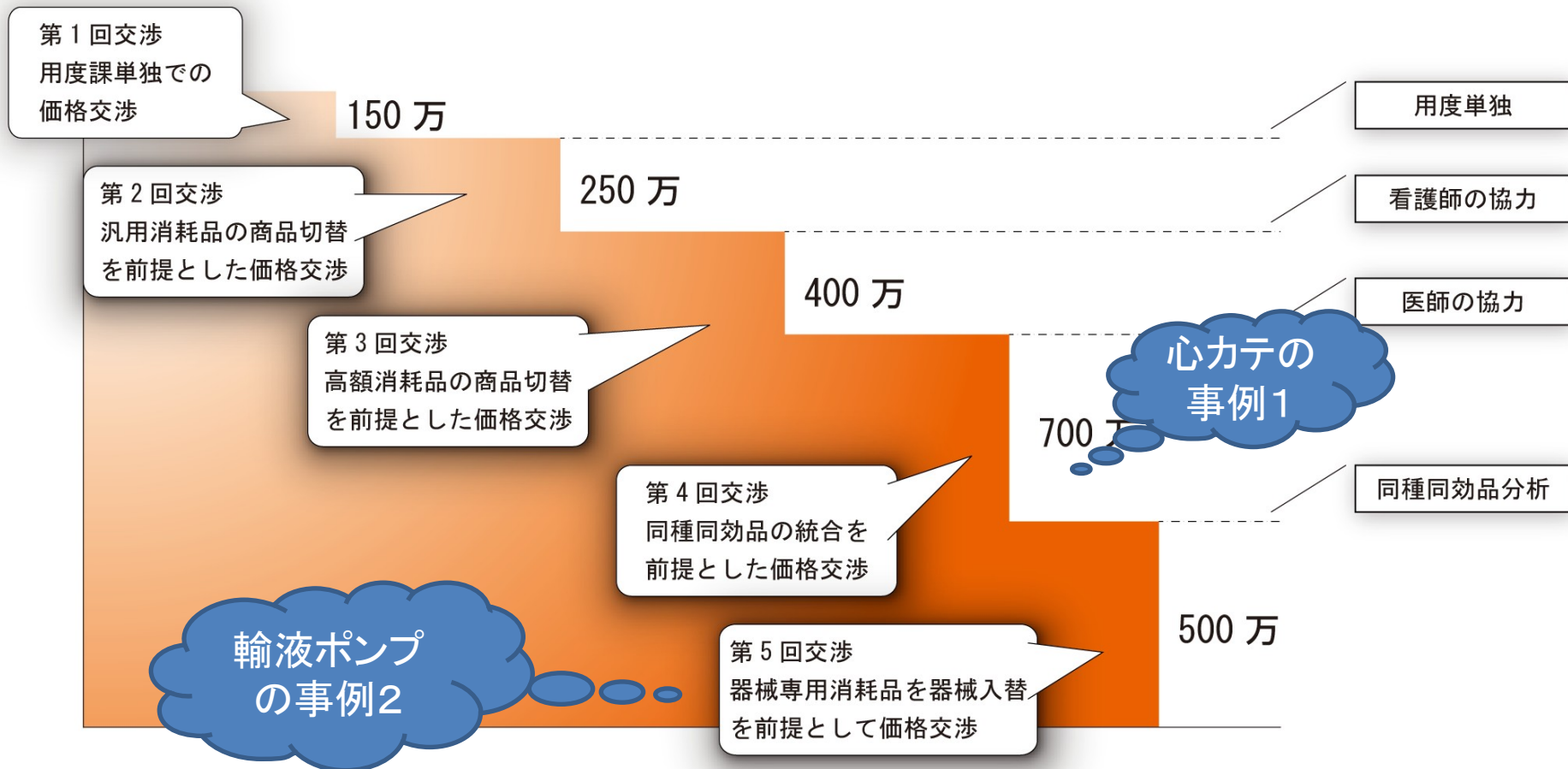
## 検査・検診用手袋の内訳

用途分類	合計	累計	シェア	順位		
[患者][不特定][ ][ ][血糖測定][測定用チップ・センサ]	9,345,220	9,345,220	20.3%	1		
[スタッフ][ ][ ][手袋][検査・検診用]	2,876,136	12,221,356	26.5%	2		
坂本産業 ラテックス手袋 パウダーフリー	760,546	}	種類がリスク！！ 無駄が大きい！！			
西レメディカル ノーパウダープラスチック手袋	595,481					
サップ プラナチュラ ラテックスグローブ	493,259					
レミディーPVCメディカルグローブ	354,879					
レミディーエグザミグローブ	231,546					
トップPVCエグザミグローブ	165,781					
カンバリー スターリングニトリル検査検診用グローブ	80,454					
オカサキ エコソフトグローブ	68,450					
ニルモ 検査用グローブ グルベックス・ニトリル	35,001					
イワツキ クリーンハンドグローブ	793					
テプロ ノンパウダーラテックスグローブ	0					
[患者][不特定][ ][ ][血液浄化][ダイアライザ]	2,345,604			14,566,960	31.6%	3
[患者][不特定][ ][ ][輸液・輸血][延長チューブ]	1,983,059			16,550,019	35.9%	4
[患者][不特定][ ][ ][血糖測定][穿刺針]	1,921,874	18,471,893	40.0%	5		
[患者][不特定][ ][ ][その他][オムツ]	1,908,141	20,380,034	44.2%	6		
[患者][不特定][ ][ ][輸液・輸血][輸液セット]	1,399,165	21,779,199	47.2%	7		
[患者][特定臓器][泌尿器科][膀胱][吸引・排液][バルーンカテーテル]	1,041,504	22,820,702	49.5%	8		
[患者][不特定][ ][ ][輸液・輸血][注射針]	1,007,040	23,827,742	51.6%	9		
[患者][特定臓器][呼吸器系][気管][吸引・排液][吸引カテーテル]	986,630	24,814,372	53.8%	10		
[患者][不特定][ ][ ][輸液・輸血][シリンジ]	936,149	25,750,521	55.8%	11		
[患者][不特定][ ][ ][感染対策][手術キット(カスタム品)]	916,602	26,667,123	57.8%	12		

医師、看護師で使用基準をつくる、使用基準にみあう商品に絞り込む

# 医療材料で 大きな削減額を出すには・・・

200床の急性期病院 年間購買規模4億円  
1年間で購買価格の5%(2000万)削減



# 医療材料のコストカット事例

- N病院の事例より

- 事例1

- 心カテ室のコストカット事例

- 事例2

- 輸液ポンプのコストカット事例

# 医療材料コストカット事例1

## 心カテ室医療材料のコストカット

# 心臓カテーテル

- 心臓カテーテル

- 心臓カテーテルの標準化とメーカー集約により年間1千万円のコストカット

- 診断用心臓カテーテルを標準化し、メーカーをテルモ、ボストンの2社に絞った

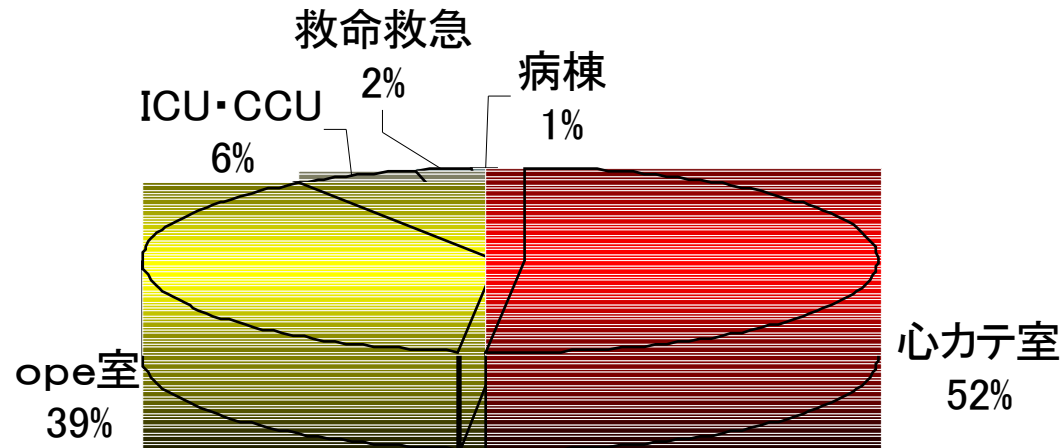
- メーカー絞込みと年間契約がポイント

# 03年 N病院

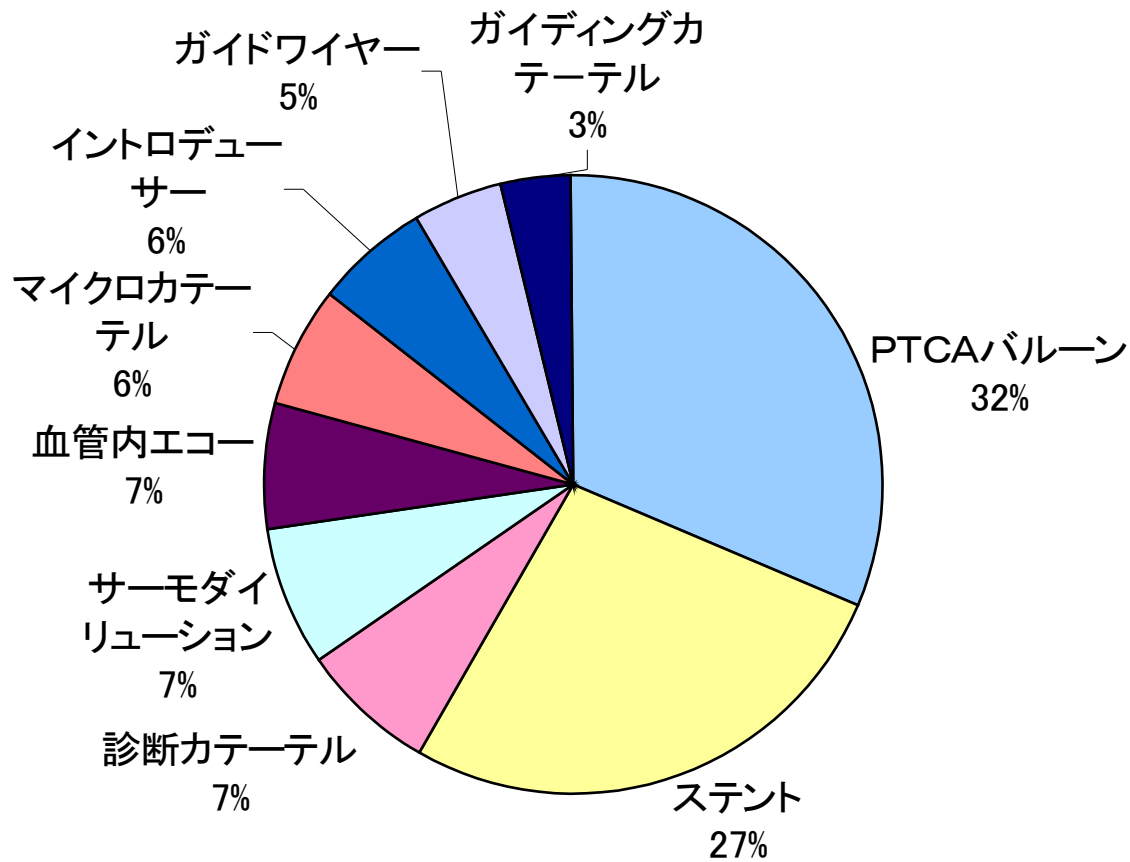
## 『医療材料のコストカット・プログラム』

- ① 医療材料(現行8.7億円)を1億円程度削減を目標
- ② コスト占有率の高い心カテ室から
- ③ データーに基づいて、診療現場の納得を得ながら行う

N病院の医療材料消費状況



# 血管系カテーテル 商品別市場規模



(矢野経済研究所2002年度予測)



# コストカット・プログラムの進め方

## Step 1. カテ材料のセグメント別分析

- 採用メーカー数(品種数)
- 採用メーカー別使用数量(消費額)

## Step 2. メーカー・品種の絞込み

- 絞込み条件の設定

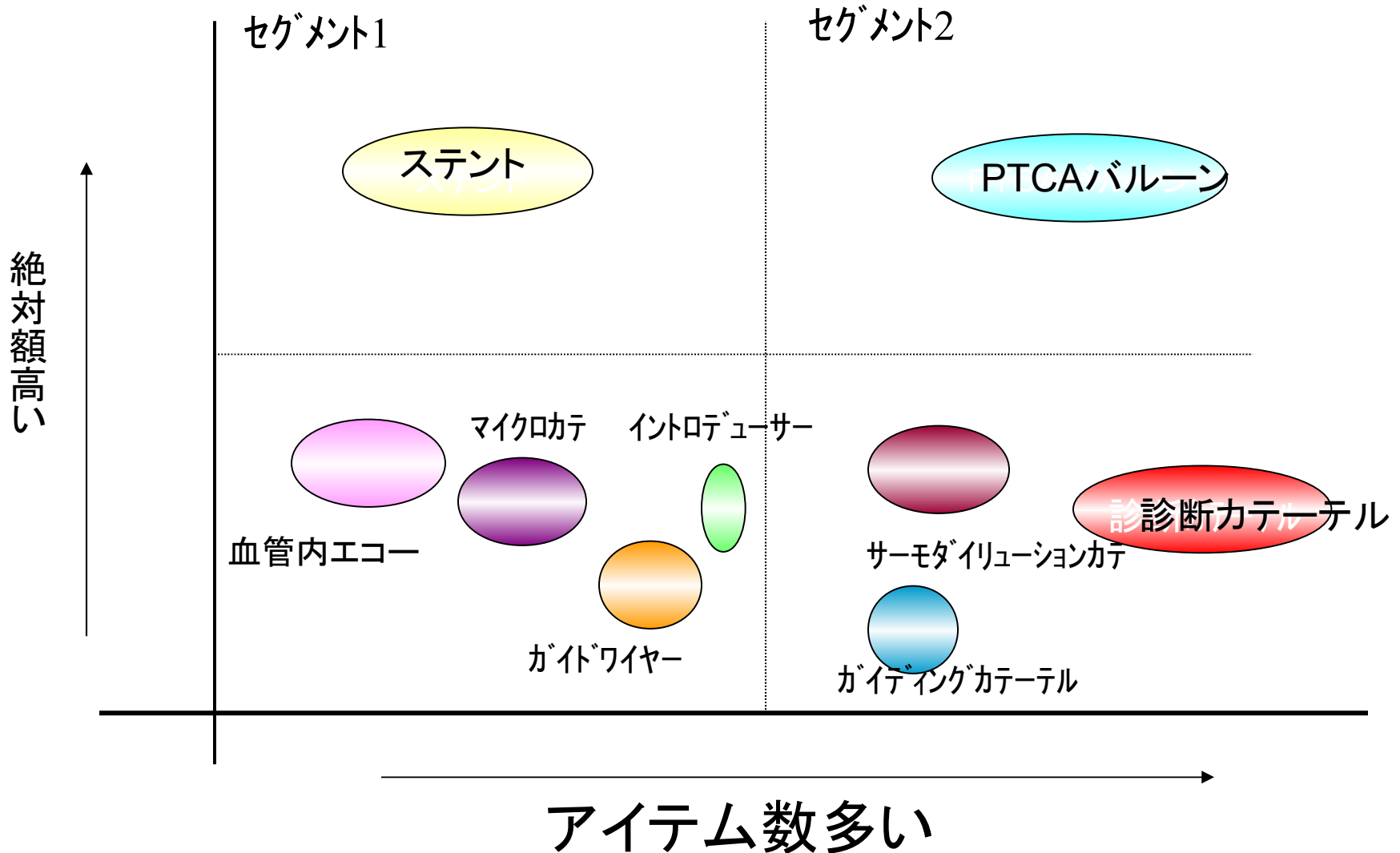
## Step 3 診療部の合意形成

## Step 4. ボリュームおよび契約内容、メーカー絞り込みを

### 背景にした価格交渉

- メーカー(品種)絞込みによるボリュームディスカウント
- 契約期間の延長
- 立会い、貸し棚などコスト要因の排除

# 心カテ室購入額とアイテム数による セグメント分析



# プログラムの実行

## メーカー選定

- **メーカー絞り込みについて循環器科と協議**
- 品種構成の充実したT社またはB社への絞り込みを決定



価格交渉開始: 1,000万円/年ダウンを目標

- 随時契約から単年度契約に変更
- 年間使用数量を7割とした場合の価格提示を要望

病院と卸との交渉では目標の3~4割



T社を活用し卸と折衝



**年間使用数量確保を条件に目標達成**

# 医療材料コストカット事例2

## 輸液ポンプ見直し

- 輸液ポンプの見直しにより年間1千万円のコストカット
  - アイメドをテルモに置き換えで、輸液セットの消費額が減った
- 輸液ポンプの使用実態調査
  - 稼働率の測定
  - 他施設との比較(病床あたり輸液ポンプ台数)

# 輸液ポンプ見直し

## ＜検討内容

- ① 院内ME機器の課題抽出
- ② ランニングコスト分析(輸液ポンプ、シリンジポンプを中心に)
- ③ 稼動状況調査結果
- ④ 改善プラン



コスト削減は用度係だけでは限界  
医師・看護師の協力が必須



# DPCとジェネリック医薬品



青森県立中央病院のジェネリック医薬品導入率



# ジェネリック医薬品品目割合及び金額割合 (青森県立中央病院 H22. 7月～H23. 3月 )

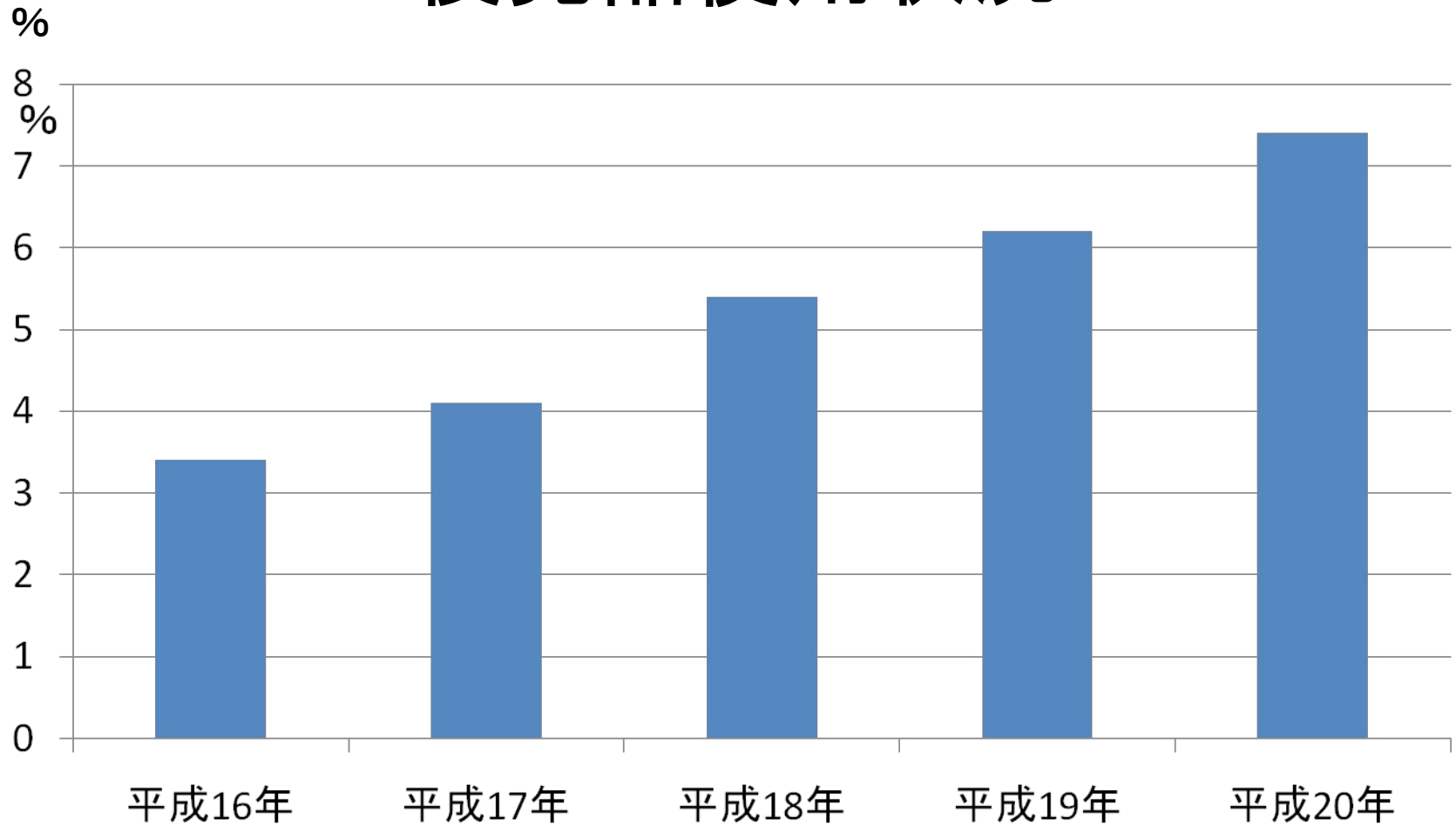
		品目数	品目割合	金額	金額割合
後発品計		117	7.8%	65,667,267	7.3%
内訳	後発品(外用)	22	1.5%	3,269,109	0.4%
	後発品(注射)	57	3.8%	60,500,971	6.7%
	後発品(内服)	38	2.5%	1,897,187	0.2%
先発品計		1,379	92.2%	839,931,873	92.7%
内訳	先発品(外用)	238	15.9%	56,771,363	6.3%
	先発品(注射)	538	36.0%	676,856,472	74.7%
	先発品(内服)	603	40.3%	106,304,038	11.7%
総計		1,496	100.0%	905,599,140	100.0%

# DPCによる医薬品の変化

中医協DPC評価分科会より

2005年4月12日

# DPC対象病院・準備病院における 後発品使用状況



平成21年5月中医協DPC評価分科会資料

# 三田病院における ジェネリック医薬品の導入



2008年に注射薬65品目を置き換えた

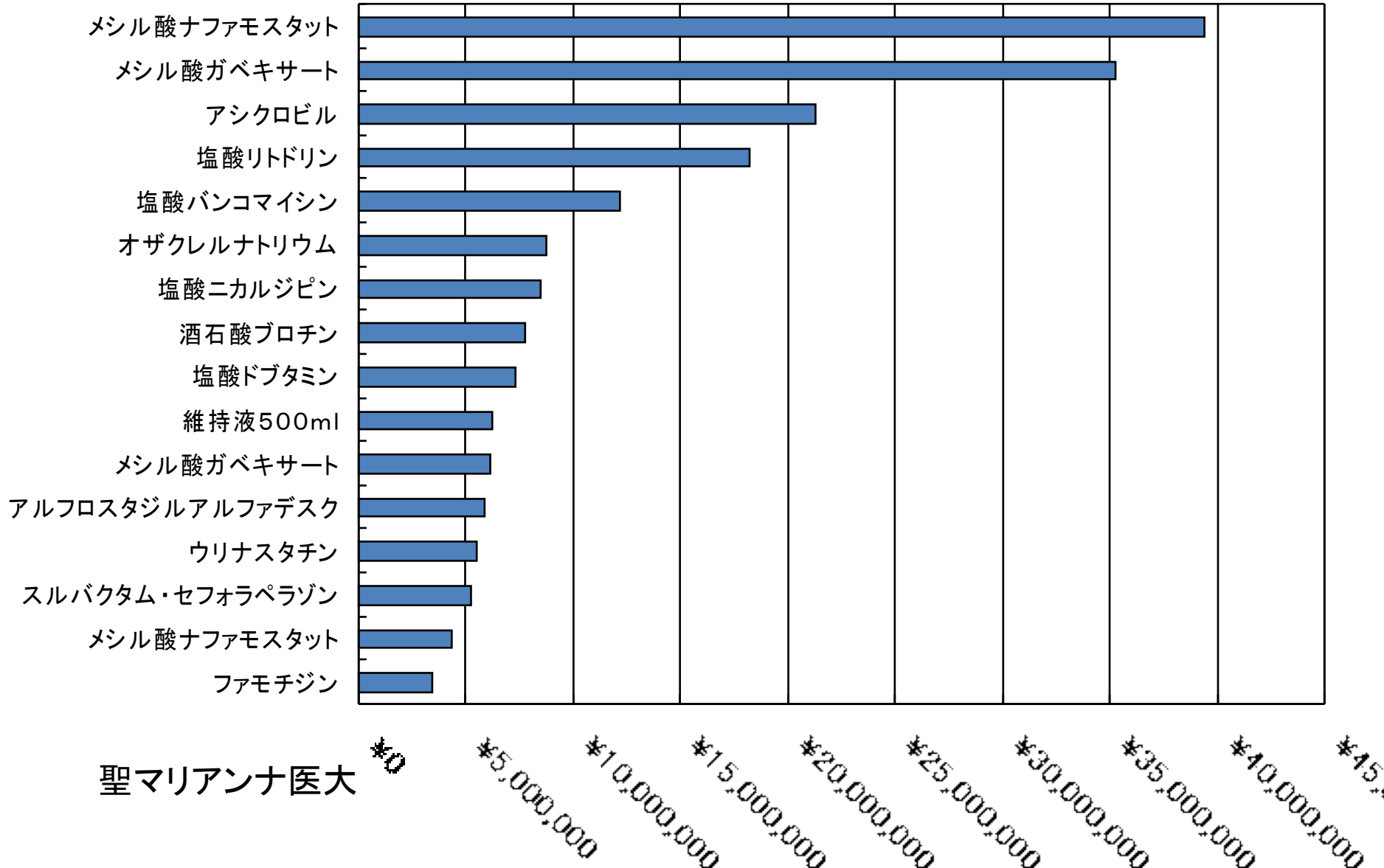
# 三田病院におけるジェネリック医薬品 切り替え方針

- 入院における注射薬について7月1日から切り替え、一段落したら次に内服外用薬を切り替え
- ジェネリック医薬品の選定方針
  - 国際医療福祉大学グループ3病院で使用している注射薬600品目のうちジェネリック医薬品が存在するのが300品目
  - 流通上の問題のあるもの、先発品と比較してコスト差があまりないもの等の整理を行い、約150品目に絞込み
  - 入院中心で使用されると想定される薬剤および造影剤に、更に絞って整理し65品目とした。
  - 流通に関しては、直納品ではなく大手卸会社経由のものにて選定。

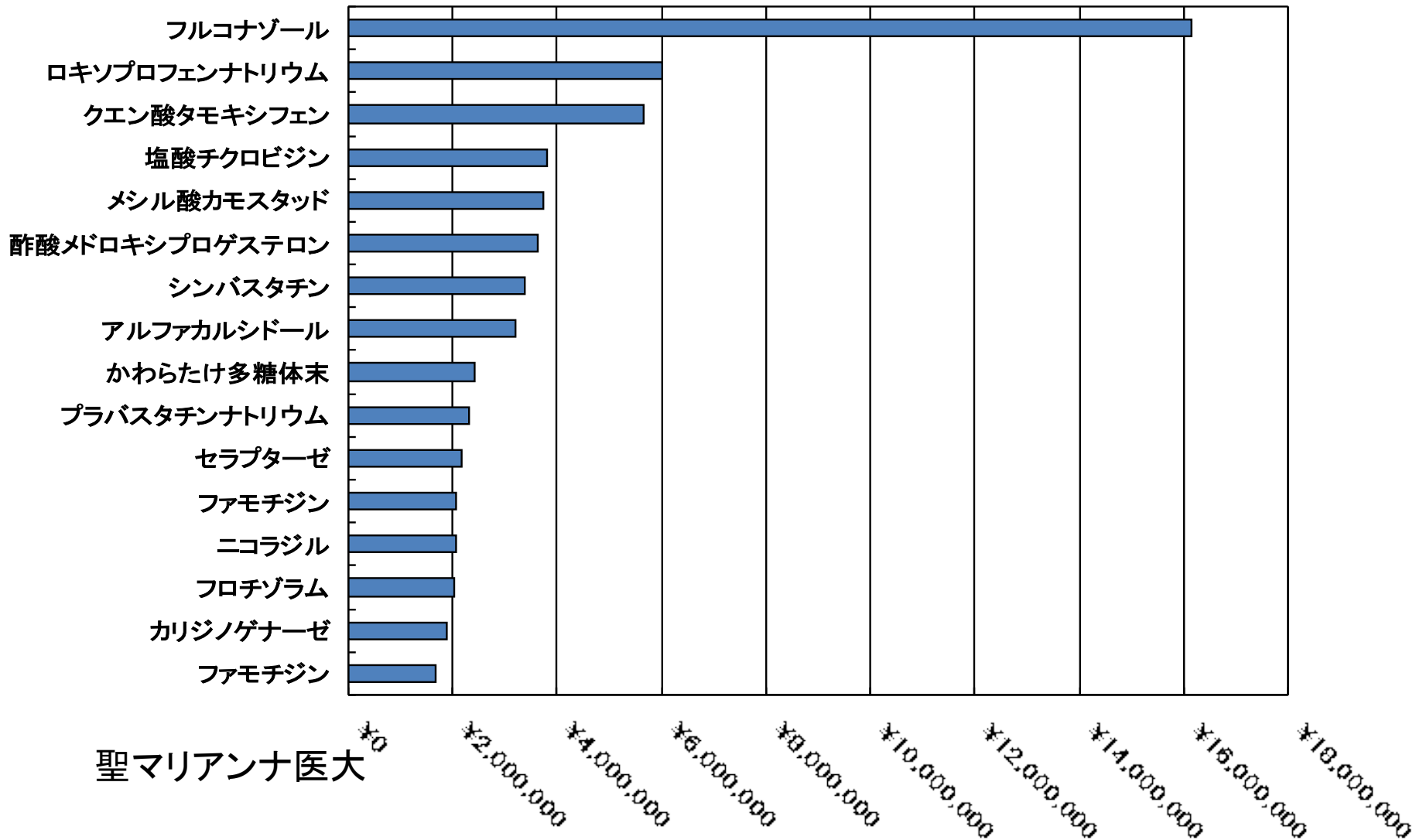
# 聖マリアンナ医大の事例も参考にした

- 2003年4月1日よりDPC導入
- 全採用品目数約1700品目、年間医薬品購入費50億円
- 67品目の注射剤を先発品から後発品に切り替え→年間2億円の削減効果
- 切り替えプロセス
  - 後発品のあるすべての注射薬120–130品目について検討
  - 品質、情報、安定供給を確認したうえで、67品目を切り替え

# 削減効果の多い注射薬(2005年)



# 削減額の大きい内服薬(2005年)



■ 削減額



# 三田病院後発品置き換え品目

	先発薬品名	規格・単位	会社名
1	アデラピン 9号	1mL 1A	三和化学
2	アネキセート注射液 0.5mg	0.5mg 5mL 1A	アステラス
3	アミノルバン ソフトバッグ	500mL 1B	大塚
4	イノバン注 100mg	100mg 5mL 1A	協和
5	イントラリス 20% ソフトバッグ	20% 100mL 1B	大塚
6	イーンF 注	500mL 1バイアル	興和
7	エフォーワイ注射用 100	100mg 1バイアル	小野
8	塩酸トパミン注キット 200	0.1% 200mL 1 バッグ	持田
9	塩酸トパミン注キット 600	0.3% 200mL 1 バッグ	持田
10	塩酸バンコマイシン点滴静注用	0.5g 1バイアル	塩野義
11	キサホン注射用 20mg	20mg 1バイアル	キッセイ
12	グリセオール注 バッグ	200mL 1バッグ	中外
13	シグマート注 2mg	2mg 1バイアル	中外
14	シグマート注 48mg	48mg 1バイアル	中外
15	スルパラゾン静注用 1g	1g 1バイアル	ファイザー
16	セファメジンα 点滴用 1g キット	1g 1キット	アステラス
17	セファメジンα 注射用 1g	1g 1バイアル	アステラス
18	セフメタゾン キット点滴静注用 1g	1g 1キット	第一三共
19	セフメタゾン静注用 1g	1g 1バイアル	第一三共
20	セルシン注射液 10mg	10mg 1A	武田

	後発薬品名	規格・単位	会社名
	リバレス注	1mL 1A	日医工
	フルマゼニル注射液0.5mg「F」	0.5mg 5mL 1A	富士
	ヒカリルバン	500mL 1B	光製薬
	トパミン塩酸塩点滴静注用100mg「アイロム」	100mg 5mL 1A	アイロム
	イントラファット注20%	20% 100mL 1B	武田
	ソリュウケンF	500mL 1V	アイロム
	注射用フロピトール100mg	100mg 1バイアル	日医工
	塩酸トパミン注キット 200	0.1% 200mL 1 バッグ	アイロム
	塩酸トパミン注キット 600	0.3% 200mL 1 バッグ	アイロム
	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	0.5g 1バイアル	光製薬
	キサロツト点滴静注20mg	20mg 1mL 1アンブ ル	アイロム
	グリセレブ	200mL 1バッグ	テルモ
	ニコランジル点滴静注用2mg「サワイ」	2mg 1バイアル	沢井
	ニコランジル点滴静注用48mg「サワイ」	48mg 1バイアル	沢井
	バクワオーセ 静注用1g	1g 1バイアル	サント
	ラセナゾリン注射用 1g	1g 1バイアル	日医工
	ラセナゾリン注射用 1g	1g 1バイアル	日医工
	セフメタゾン-ルNa静注用1g「NP」	1g 1バイアル	ニプロ
	セフメタゾン-ルNa静注用1g「NP」	1g 1バイアル	ニプロ
	ジアセハム注射液10mg「タイヨー」	10mg 1A	大洋

# 三田病院後発品置き換え品目

21	パピラックス点滴静注用 250	250mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	GSK
22	ソリターT 3号	200mL 1ﾊﾞｯｸ	味の素
23	ソリターT 3号	500mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	味の素
24	ソル・メドロール 125mg	125mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	ファイザー
25	ソル・メドロール 500mg	500mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	ファイザー
26	ソルダクトン 100mg	100mg 1A	ファイザー
27	タキソール注射液 30mg	30mg 5mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	プリストル
28	タキソール注射液 100mg	100mg 16.7mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	プリストル
29	タラシン S注射液 600mg	600mg 1A	ファイザー
30	テカトロン注射液 4mg	3.3mg 1mL 1A	万有
31	トブトレックス注射液 100mg	100mg 1A	塩野義
32	トランサミン注 10%	10% 10mL 1A	第一三共
33	トルミカム注射液 10mg	10mg 2mL 1A	アステラス
34	ハベカシン注射液 100mg	100mg 2mL 1A	明治
35	パラプラチン注射液 50mg	50mg 5mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	プリストル
36	パラプラチン注射液 150mg	150mg 15mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	プリストル
37	パラプラチン注射液 450mg	450mg 45mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	プリストル
38	パンスホリン静注用 1g ﾊｯｸﾞS	1g 1ｷｯﾄ	武田
39	パントール注射液 100mg	100mg 1A	トーアエイ
40	パントール注射液 500mg	500mg 1A	トーアエイ
41	ヒルトニン 0.5mg 注射液	0.5mg 1A	武田

アシクロビル注250mg「科薬」	250mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	ホーラ
ヒシナルク3号輸液	200mL 1ﾊﾞｯｸ	ニプロ
ヒシナルク3号輸液	500mL 1ﾊﾞｯｸ	ニプロ
注射用ソル・メルコート125	125mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	富士
注射用ソル・メルコート500	500mg 1ﾊﾞｲｱﾙ	富士
ﾊﾞﾈｸﾄﾐﾝ静注用100mg	100mg 1A	大洋
ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ注射液30mg「NK」	30mg 5mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	日本化薬
ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ注射液100mg「NK」	100mg 16.7mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	日本化薬
クリダマシン注600mg	600mg 1A	ニプロ
デキサート注射液	3.3mg 1mL 1A	富士
ﾄﾞﾌﾞﾀﾐﾝ点滴静注用100mg「アイロム」	100mg 1A	アイロム
トランサホン注1g	10% 10mL 1A	ニプロ
ミダゾラム注10mg「サント」	10mg 2mL 1A	サント
テコンタシン注射液100mg	100mg 2mL 1A	大洋
カルボプラチン点滴静注用50mg「サント」	50mg 5mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	サント
カルボプラチン点滴静注用150mg「サント」	150mg 15mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	サント
カルボプラチン点滴静注用450mg「サント」	450mg 45mL 1ﾊﾞｲｱﾙ	サント
ﾊﾟｾﾄｸｰﾙ静注用1g	1g 1ﾊﾞｲｱﾙ	ニプロ
パンテニール注100mg	100mg 1A	アイロム
パンテニール注500mg	500mg 1A	アイロム
ヒシダリン注0.5mg	0.5mg 1A	ニプロ

# 三田病院後発品置き換え品目

42	アスコパン注射液	2% 1mL 1A	N・B・I
43	プロスタルモン-F注射液 1000	1mg 1mL 1A	小野
44	1% プロホパオール注「マルイシ」	200mg 20mL 1A	丸石
45	ペルシピン注射液 2mg	2mg 2mL 1A	アステラス
46	ペルシピン注射液 10mg	10mg 10mL 1A	アステラス
47	ヘルベッサー注射用 10mg	10mg 1A	田辺三菱
48	ヘルベッサー注射用 50mg	50mg 1A	田辺三菱
49	ペントシリン注射用 1g	1g 1バイアル	大正富山
50	ペントシリン静注用 2g パック	2g 1キット	大正富山
51	ミネラリン注	2mL 1A	日薬
52	モタシ静注用	1g 1バイアル	GSK
53	ラシックス注 20mg	20mg 1A	サノフィA
54	硫酸アミガシノ注射液「萬有」	100mg 1A	万有
55	リントロン注 2mg (0.4%)	2mg 0.5mL 1A	塩野義
56	セフィチン静注用 1g	1g 1バイアル	中外
57	オムニパーク 300	64.71% 20mL 1V	第一三共
58	オムニパーク 300	64.71% 50mL 1V	第一三共
59	オムニパーク 300	64.71% 100mL 1V	第一三共
60	オムニパーク 300 シリンジ	64.71% 100mL 1シリンジ	第一三共
61	オムニパーク 350	75.49% 50mL 1V	第一三共
63	オムニパーク 350	75.49% 100mL 1V	第一三共
64	オムニパーク 350 シリンジ	75.49% 100mL 1シリンジ	第一三共

タゴシッド200mg  
シプロキサシ注 300mg  
プロスタンディン 20

アステラス  
バイエル  
小野

アスコパン注射液	2% 1mL 1A	キョーリン
プロスタモン注1000	1mg 1mL 1A	富士
1% プロホパオール注「マイリン」	200mg 20mL 1A	マイリン
サリベックス注0.1%	2mg 2mL 1A	日医工
サリベックス注0.1%	10mg 10mL 1A	日医工
塩酸シラセム注射用10「日医工」	10mg 1A	日医工
塩酸シラセム注射用50「日医工」	50mg 1A	日医工
ピクフェニン注射用1g	1g 1バイアル	日医工
ピクフェニン注射用2g	2g 1バイアル	日医工
メレニック注	2mL 1A	大洋
セパシ静注用1g	1g 1バイアル	光製薬
フロセミド注「ミタ」	20mg 1A	キョーリン
ヘルマトン注100mg	100mg 1A	日医工
リノサル注射液2mg (0.4%)	2mg 1A	わかもと
セフィロム静注用1g	1g 1バイアル	日医工
イオパーク 300	64.71% 20mL 1V	コニカ
イオパーク 300	64.71% 50mL 1V	コニカ
イオパーク 300	64.71% 100mL 1V	コニカ
イオパーク 300 シリンジ	64.71% 100mL 1シリンジ	コニカ
イオパーク 350	75.49% 50mL 1V	コニカ
イオパーク 350	75.49% 100mL 1V	コニカ
イオパーク 350 シリンジ	75.49% 100mL 1シリンジ	コニカ

テイコプラニン点滴静注用200mg  
シプロフロキサシン点滴静注液300mg  
タンデトロン注射用20

日医工  
日本ケミファ  
高田

# 抗がん剤の ジェネリック医薬品への置き換え

医師の抵抗



# 後発品切り替えに対する医師意見 「抗がん剤」

- 外科医師

- 抗がん剤の後発薬は安全性や有効性が保障されているのか？ 合併症発生時や緊急時の情報提供体制は大丈夫か？

- メーカーの説明会を実施

- タキソール→パクリタキセル(日本化薬)
    - パラプラチン→カルボプラチン(サンド)

# 国立がんセンター中央病院で採用されている抗がん剤ジェネリック医薬品

- |                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| • エピルビシン塩酸塩注10mg.マイラン塩酸エピルビシン10mg.  | マイラン製薬 |
| • エピルビシン塩酸塩注50mg.マイラン塩酸エピルビシン50mg.  | マイラン製薬 |
| • エトポシド点滴静注液「サンド」エトポシド100mg         | サンド    |
| • カルボプラチン点滴50mg「マルコ」カルボプラチン50mg.    | 日医工    |
| • カルボプラチン点滴150mg「マルコ」カルボプラチン150mg.  | 日医工    |
| • カルボプラチン点滴450mg「マルコ」カルボプラチン450mg.  | 日医工    |
| • シスプラチン注10マルコシスプラチン10mg.           | ヤクルト   |
| • シスプラチン注25マルコシスプラチン25mg.           | ヤクルト   |
| • シスプラチン注50マルコシスプラチン50mg.           | ヤクルト   |
| • パクリタキセル30mg「NK」パクリタキセル30mg        | 日本化薬   |
| • パクリタキセル100mg「NK」パクリタキセル100mg      | 日本化薬   |
| • イリテカン点滴静注液40mg「サワイ」イリテカン塩酸塩40mg   | 沢井製薬   |
| • イリテカン点滴静注液100mg「サワイ」イリテカン塩酸塩100mg | 沢井製薬   |
| • ドキソルビシン塩酸塩注10mgドキソルビシン塩酸塩10mg.    | サンド    |
| • ドキソルビシン塩酸塩注50mgドキソルビシン塩酸塩50mg.    | サンド    |
| • ロゼウス静注10mg 酒石酸ビルルビン10mg.          | 日本化薬   |
| • ロゼウス静注40mg 酒石酸ビルルビン40mg           | 日本化薬   |

# 医薬品情報担当の薬剤師の役割

## DI担当の薬剤師の森さん

- DPC移行に伴うジェネリック医薬品導入では医薬品情報担当の薬剤師の役割が大事
- 医師の質問に対する回答
- 看護師に対するジェネリック医薬品の置き換えに対する情報提供
  - 医師の口頭指示を看護師が後発品対照表を見比べて用意する



# 持参薬管理

- DPCでは徹底した持参薬管理が必要
  - 入院案内で持参薬の入院時持ち込みのお知らせ
  - 入院時に病棟担当薬剤師が持参薬チェックと術前薬の服薬指導を行う
  - 持参薬の鑑別票を作成
  - 持参薬の病棟保管
  - 退院時に病棟担当薬剤師が持参薬と退院時処方薬の服薬指導を行う



# 持参薬管理

DPCでは徹底  
した持参薬管理  
が求められる  
持参薬が3倍に  
増えた

7階病棟担当  
薬剤師の  
石井さん



10.09 10:43



65品目の注射薬の  
置き換え評価

# ジェネリック医薬品への置き換え評価

- 名称類似性によるヒヤリハット
  - イノバン(先)→ドパミン(後)
  - ドブトレックス(先)→ドブタミン(後)
  - イノバンの後発をドブタミンと間違えそうになった
  - 注射薬の対照表を作成
- ラセナゾリン副作用1例
  - アナフィラキシー様症状
- フサンの後発で透析回路凝血2件

変更前	変更後
アデラピン9号 (1mL)	リハリス (1mL)
★ アドナ (50mg)	アーツェー (50mg)
★ アネキセート (0.5mg)	フルマゼニル (0.5mg)
★ アミノグリッド (500mL)	ビーグリッド (500mL)
★ アミルパン (500mL)	ヒカルパン (500mL)
イノバン (100mg)	ドパミン塩酸塩 (100mg)
イノトリン液 (20%100mL)	イノトリン液 (20%100mL)
グイーンF (500mL)	ソリュゲーンF (500mL)
★ エアフォー (100mg)	アピトール (100mg)
★ ガスター (20mg)	ガスボート (20mg)
★ キザンボン (20mg)	キザクロト (20mg)
★ グリセロール (200mL)	グリセリア (200mL)
シグマート (2mg)	ニコラジル (2mg)
シグマート (48mg)	ニコラジル (48mg)
スルヘラリン (1g)	バクアゼ (1g)
セファジニキット (1g)	ラセナゾリンバイアル (1g)
セファジニバイアル (1g)	
セフメタゾニキット (1g)	セフメタゾールNaバイアル (1g)
セフメタゾニバイアル (1g)	
セルシン (10mg)	シアゼハム (10mg)
★ ビラックス (250mg)	アシナピル (250mg)
★ ヴィタ-T3号200mL	ビナルク3号200mL
★ ヴィタ-T3号500mL	ビナルク3号500mL
ゾルダクソ (100mg)	ヘネグミン (100mg)
ゾル・メドロール (125mg)	ゾル・メドコート (125mg)
ゾル・メドロール (500mg)	ゾル・メドコート (500mg)
★ キキソール (30mg)	ハグリタキセル (30mg)
★ キキソール (100mg)	ハグリタキセル (100mg)
★ ダラシス (600mg)	クリダマシ (600mg)
★ チエナム (0.5g)	イネナム・ウラスチン (0.5g)
★ デカロン (4mg)	デキサート (4mg)
★ ドアトレックス (100mg)	ドアタシ (100mg)
トランサミン (1g)	トランサボン (1g)
トリスル (10mg)	ミダゾラム (10mg)
ハバカシ (100mg)	デモンタシ (100mg)
★ ハラアラチン (50mg)	カルボアラチン (50mg)
★ ハラアラチン (150mg)	カルボアラチン (150mg)
★ ハラアラチン (450mg)	カルボアラチン (450mg)
★ ハンズネリンバッグ (1g)	ハセケールバイアル (1g)
ハンター (100mg)	ハンチニル (100mg)
ハンター (500mg)	ハンチニル (500mg)
ヒトニン (0.5mg)	ビンダリン (0.5mg)
★ アスコン (2%1mL)	アズボン (2%1mL)
★ プリンヘラン (10mg)	エリチン (10mg)
★ アロスタキモン-F (1000μg)	アロストモ (1000μg)
★ ヘルシピン (2mg)	ザリハックス (2mg)
★ ヘルシピン (10mg)	ザリハックス (10mg)
★ ヘルヘッサー (10mg)	塩酸シメチジン (10mg)
★ ヘルヘッサー (50mg)	塩酸シメチジン (50mg)
★ ヘントリンバイアル (1g)	ピクフェニンバイアル (1g)
★ ヘントリンバッグ (2g)	ピクフェニンバイアル (2g)
ミネリン	ボレニック
★ モダシン (1g)	セハダシン (1g)
★ ユダシン (1.5g)	ビシリンバクタ (1.5g)
★ ランックス (20mg)	フロセド (20mg)
★ 塩酸アミダシ (100mg)	ヘルストン (100mg)
★ リンデロン (2mg)	リノサール (2mg)
★ ロセフィン (1g)	セフィロム (1g)

・メーカー変更のみで、品名変更の無い薬品は除外  
 ・☆は以前からの変更ですので対応お願いします  
 ●: 抗凝固剤、抗血栓薬、抗がん剤、抗がん剤 平成20年6月26日現在

対照表しおりの作成

パート4

DPCと地域医療連携

# 青森県立中央病院の現状

- DPC対象病院への移行前後で平均在院日数は17.3日→14.5日、2.8日減
- しかし入院期間Ⅱ（当該疾患の全国の平均在院日数）以内に退院した患者割合は全体の58.6%に留まり、さらに12診療科で病院平均を下回っている。
- 脳卒中の後方連携施設がない→在院日数の長期化

TOP20 検索 統計 **ベンチマーク** 臨床指標 係数指標 オプション

診療科別 主治医別 コード別

検索条件

病院 [01] 青森県立中央 (3936)

年月(自) 2010年08月 (932) クリア

年月(至) 2010年11月 (1015) クリア

診療科別

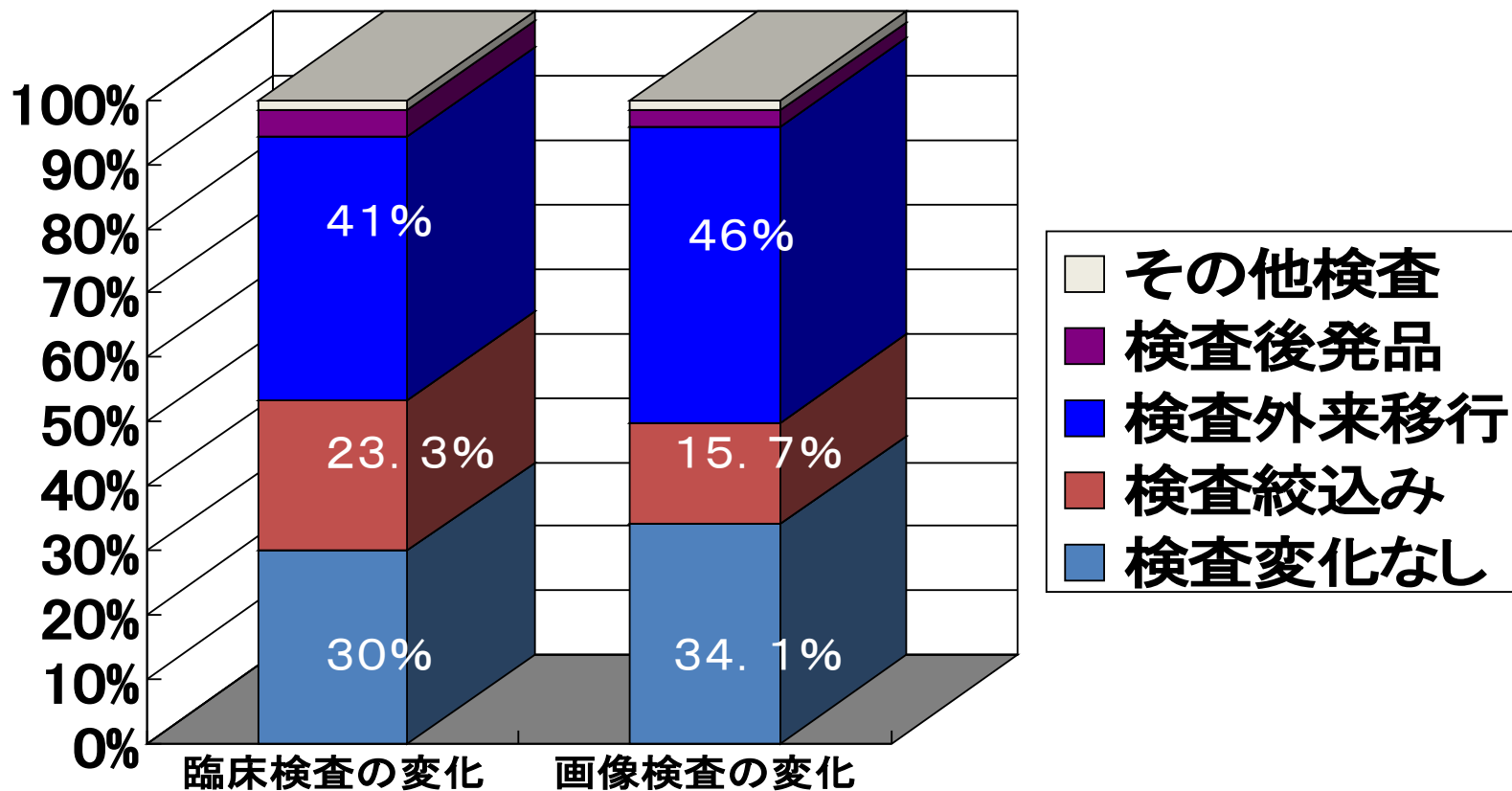
↑コード	診療科名称	件数	平均 在院日数	入院期間率				DPC請求額				出来高 合計	差額合計	増収率	
				入院期間0	入院期間1	入院期間2	入院期間3超	包括	出来高	特定入院料	入院期間3超				DPC合計
050	呼吸器科	156	15.0	34.6%	20.5%	35.9%	8.3%	66,809,310	71,480,176	3,600,800	4,766,082	146,656,368	138,260,688	8,395,680	6.07%
070	循環器科	416	8.6	28.1%	49.0%	18.8%	3.8%	108,329,950	170,019,772	521,500	9,282,196	288,153,418	286,519,898	1,633,520	0.57%
100	小児科	420	6.1	29.5%	47.6%	15.7%	2.4%	67,070,650	6,045,268	31,351,500	3,506,750	107,974,168	91,210,228	16,763,940	18.38%
110	外科	425	14.3	17.9%	46.4%	25.9%	4.7%	186,052,770	168,066,334	4,829,740	6,308,584	365,257,428	363,185,038	2,072,390	0.57%
120	整形外科	255	20.2	22.7%	40.8%	28.6%	4.7%	112,355,000	190,120,464	1,241,360	4,595,670	308,312,494	308,254,554	57,940	0.02%
150	脳神経外科	245	16.4	22.4%	37.1%	30.6%	4.9%	110,311,720	152,827,264	223,620	4,563,462	267,926,066	273,179,866	▲5,253,800	▲1.92%
170	心臓血管外科	74	20.9	13.5%	35.1%	32.4%	14.9%	46,953,710	128,852,642	9,188,760	2,282,260	187,277,372	179,884,752	7,392,620	4.11%
230	眼科	173	10.3	15.6%	52.0%	30.1%	2.3%	43,102,220	92,151,424	0	467,226	135,720,870	133,849,560	1,871,310	1.40%
240	耳鼻咽喉科	260	13.0	10.8%	31.9%	37.7%	6.2%	88,383,630	50,183,040	601,720	1,895,968	141,064,358	130,409,318	10,655,040	8.17%
271	271	10	4.1	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	2,767,970	1,240,080	0	0	4,008,050	3,424,850	583,200	17.03%
280	神経内科	194	21.0	13.9%	28.9%	40.7%	13.9%	126,394,510	32,474,268	92,120	9,247,506	168,208,404	166,335,464	1,872,940	1.13%
300	皮膚科	49	20.1	6.1%	36.7%	42.9%	12.2%	21,830,680	9,068,056	372,500	1,911,126	33,182,362	36,209,562	▲3,027,200	▲8.36%
310	泌尿器科	161	14.3	26.7%	32.9%	31.7%	6.2%	60,593,540	48,262,172	303,600	4,014,338	113,173,650	110,320,340	2,853,310	2.59%
320	産科	87	20.4	31.0%	14.9%	29.9%	24.1%	35,758,930	19,288,334	19,444,340	7,570,228	82,061,832	78,718,402	3,343,430	4.25%
330	婦人科	210	12.7	10.5%	26.7%	48.6%	13.8%	71,381,910	54,785,420	74,620	2,354,942	128,596,892	120,972,132	7,624,760	6.30%
450	内分泌内科	111	20.3	5.4%	21.6%	61.3%	11.7%	52,240,360	10,913,200	0	3,762,378	66,915,938	64,967,418	1,948,520	3.00%
480	血液内科	117	22.1	28.2%	26.5%	34.2%	7.7%	92,636,510	32,035,968	0	4,636,584	129,309,062	120,917,752	8,391,310	6.94%
490	麻酔科	2	19.5	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	619,910	68,820	0	386,350	1,075,080	1,022,010	53,070	5.19%
500	消化器内科	473	15.3	30.9%	24.3%	29.4%	12.1%	189,496,230	90,066,832	372,500	19,974,244	299,909,806	296,894,476	3,015,330	1.02%
570	膠原病リウマチ内科	14	38.6	7.1%	7.1%	35.7%	35.7%	11,711,190	2,650,612	0	3,508,418	17,870,220	18,088,860	▲218,640	▲1.21%
600	総合診療科	50	18.4	20.0%	32.0%	28.0%	18.0%	25,450,820	11,594,126	1,643,800	2,356,500	41,045,246	41,678,266	▲633,020	▲1.52%
620	新生児科	34	24.0	26.5%	32.4%	32.4%	5.9%	15,623,130	14,396,900	32,667,180	199,460	62,886,670	60,903,740	1,982,930	3.26%
	計	3,936	14.5	22.5%	36.1%	30.2%	7.7%	1,535,874,650	1,356,591,172	106,529,660	97,590,272	3,096,585,754	3,025,207,174	71,378,580	2.36%

# 入院期間の短縮

## ～術前入院期間の短縮化～

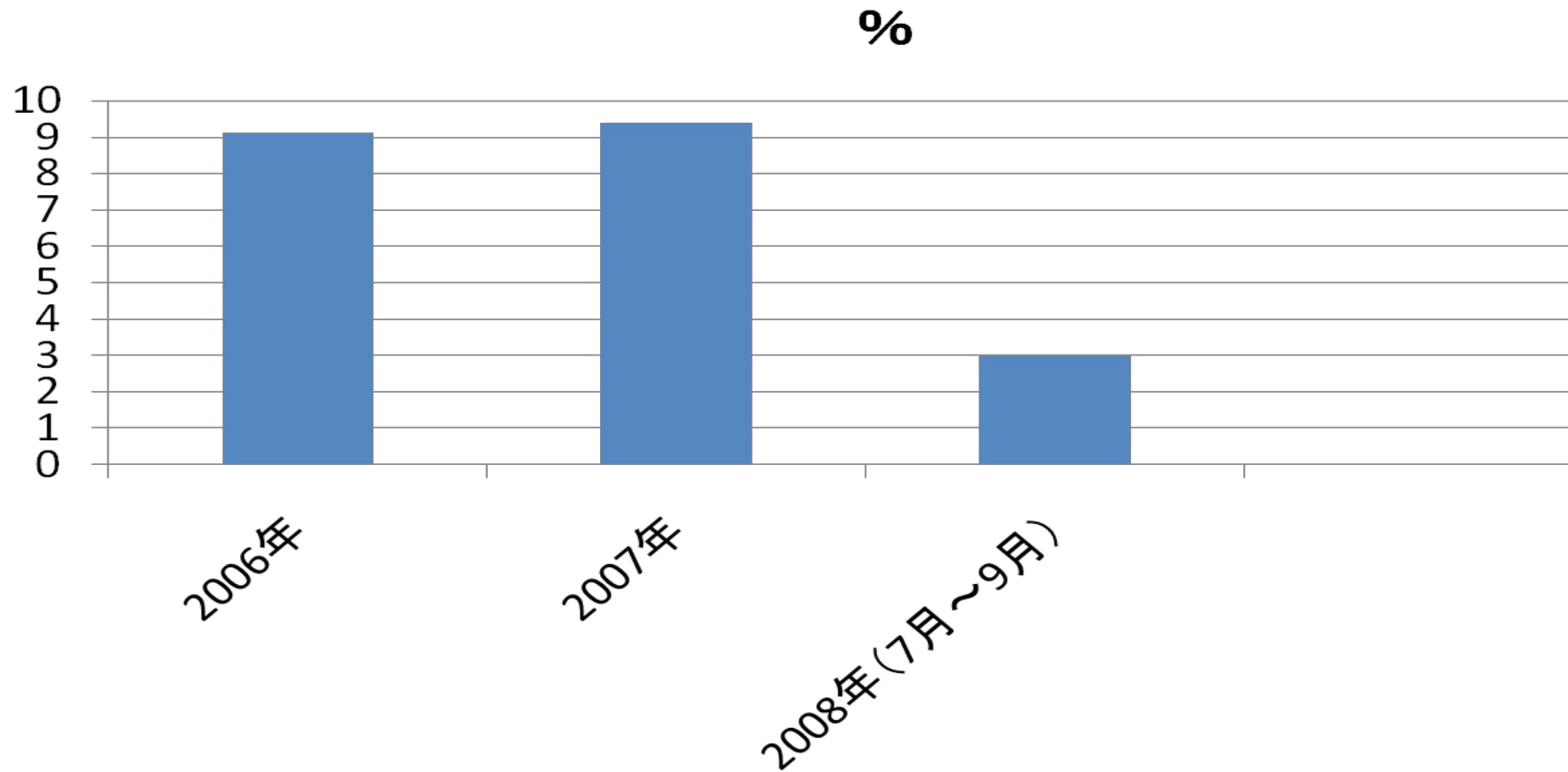
検査・画像診断等の術前検査の外来化  
術前検査センター化

# DPCの検査・画像検査へのインパクト (中医協DPC評価2005年4月)





# 予定入院症例のうち 術前CT・MRI検査実施率(三田病院)



# 佐久総合病院術前検査センター

- 術前検査センター

- 日帰り手術センターに併設
- 術前の説明
- 術前検査予約
- 術前麻酔チェック



依田師長と西澤診療部長

- 西沢診療部長

- 「検査の予約や患者への説明などは、センターの看護師が行う。そのおかげで、医師は手術に集中できる。07年に、まず胃癌の切除など定型的な手術から導入を始めたが、医師の評判が良く、外科以外の診療科にも広がりがつつある」

# 術前検査センター

- 業務内容
  - 患者への手術、検査、入院に至るまでの説明
  - 手術前の検査の日程調整と予約
  - 麻酔科診察までのデータ収集
    - 検査結果、内服薬情報、麻酔問診、歯科問診
  - 麻酔医による術前評価
  - 主治医への報告

# 術前検査センターの成果

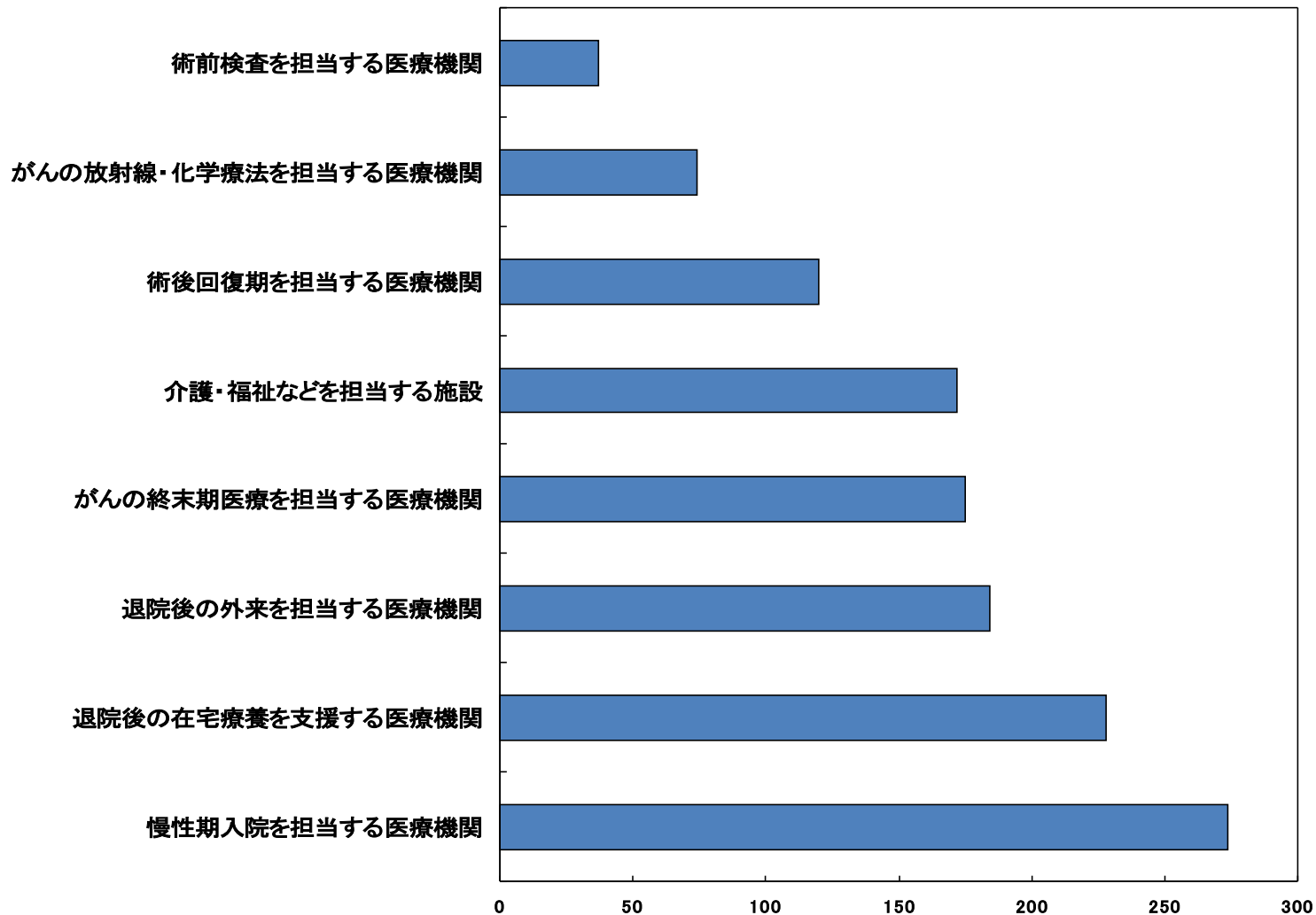
- 休薬ミスによる手術キャンセルがゼロになる
- 検査異常値の早期評価で術前の追加検査が可能
- ケースワーカーの入院前介入により高額医療費の入院前医療費の請求が可能
- 術前準備がすべて完了しているので日曜入院・月曜手術が可能となった
- 手術前期間の短縮につながった

# DPC病院と後方連携

DPC病院がほしい連携先

# DPC病院からみた 増やしたい連携医療機関

中医協・診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会



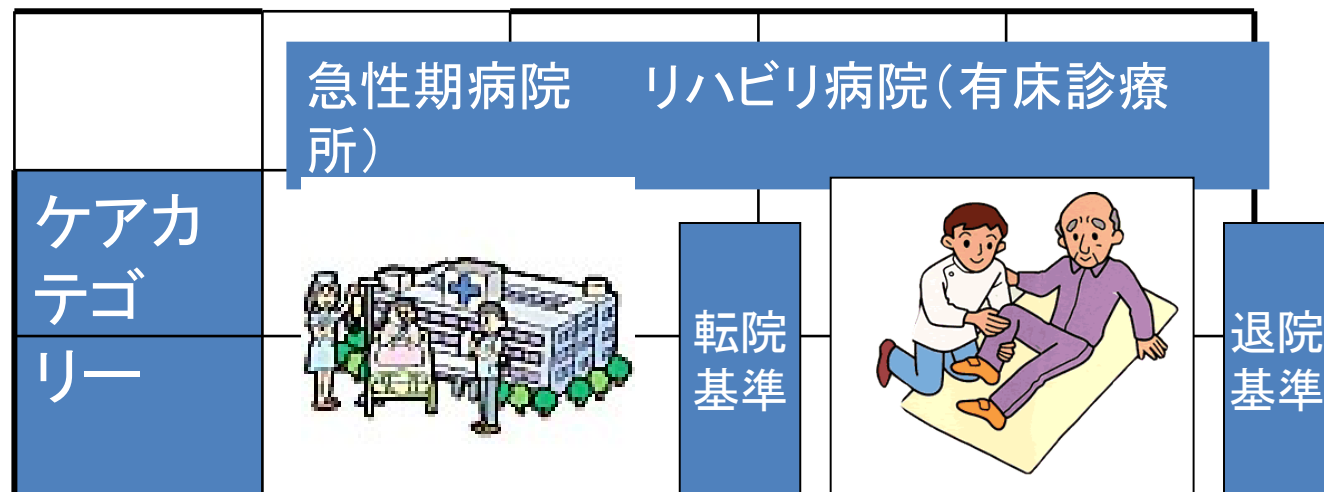
# 地域連携クリティカルパスの活用

08年改定で脳卒中の  
地域連携パスが導入される。

# 脳卒中地域連携パス (08年診療報酬改定)

- 算定要件

- 医療計画に記載されている病院又は有床診療所であること
- 退院基準、転院基準及び退院時日常生活機能評価を明記



地域連携診療計画管理料  
900点

地域連携診療計画退院時指導料  
600点



# 都内の脳卒中連携パスネットワーク

- 東京東部脳卒中連携協議会
  - 聖路加国際病院副院長 石川陵一
- メトロポリタン・ストローク・ネットワーク研究会
  - 東京慈恵医大リハ医学講座 安保雅博
- 東京都区西部脳卒中医療連携検討会
  - 東京都保健医療公社豊島病院長 山口武兼
- 区西南部医療圏脳卒中医療連携検討会
  - JR東京総合病院リハセンター一部長 田中清和
- 足立区脳卒中情報ネットワーク
  - 西新井病院長 安部裕之
- 区東部脳卒中医療連携パス
  - 森山リハビリ病院 副院長 星野寛倫
- 西多摩地域脳卒中医療連携検討会
  - 青梅市立総合病院 神経内科部長 高橋真冬
- 北多摩脳卒中連携パス協議会
  - 東大和病院 院長 大高弘稔
- 北多摩南部脳卒中ネットワーク研究会
  - 杉並リハビリ病院院長 門脇親房
- 北多摩北部脳卒中連携パス研究会
  - 小平中央リハビリ病院院長 鳥巢良一
- 南多摩保健医療圏脳卒中医療連携協議会
  - 東海大医学部附属八王子病院 神経内科医療 徳岡健太郎

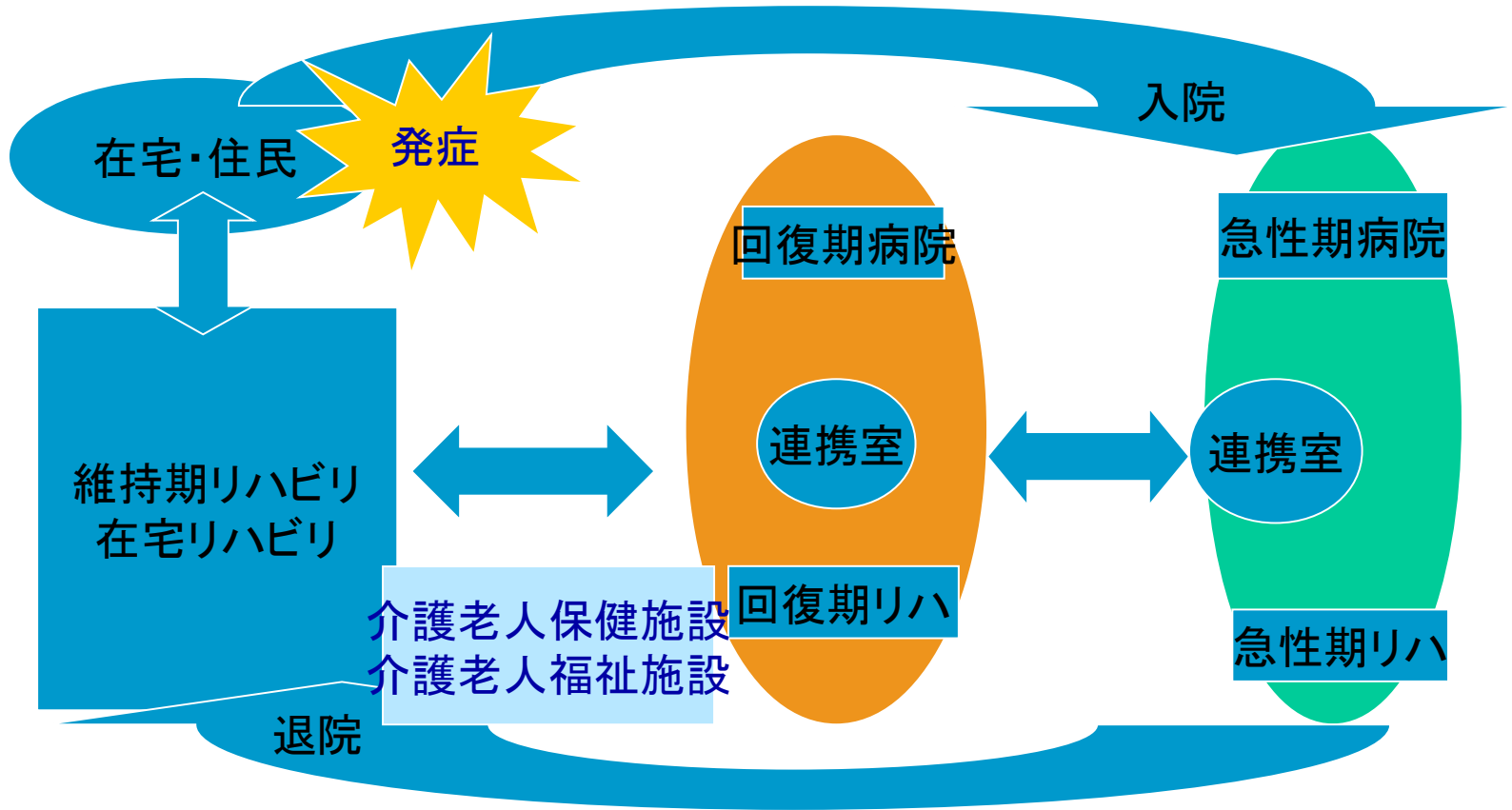
# 脳卒中地域連携パスの 東京都内の事例

慈恵医大リハビリテーション医学講座



安保雅博教授

# 脳卒中連携と地域連携パスの流れ



# 東京都内近郊の脳卒中地域連携ネットワーク構築にむけて



急性期(22施設)

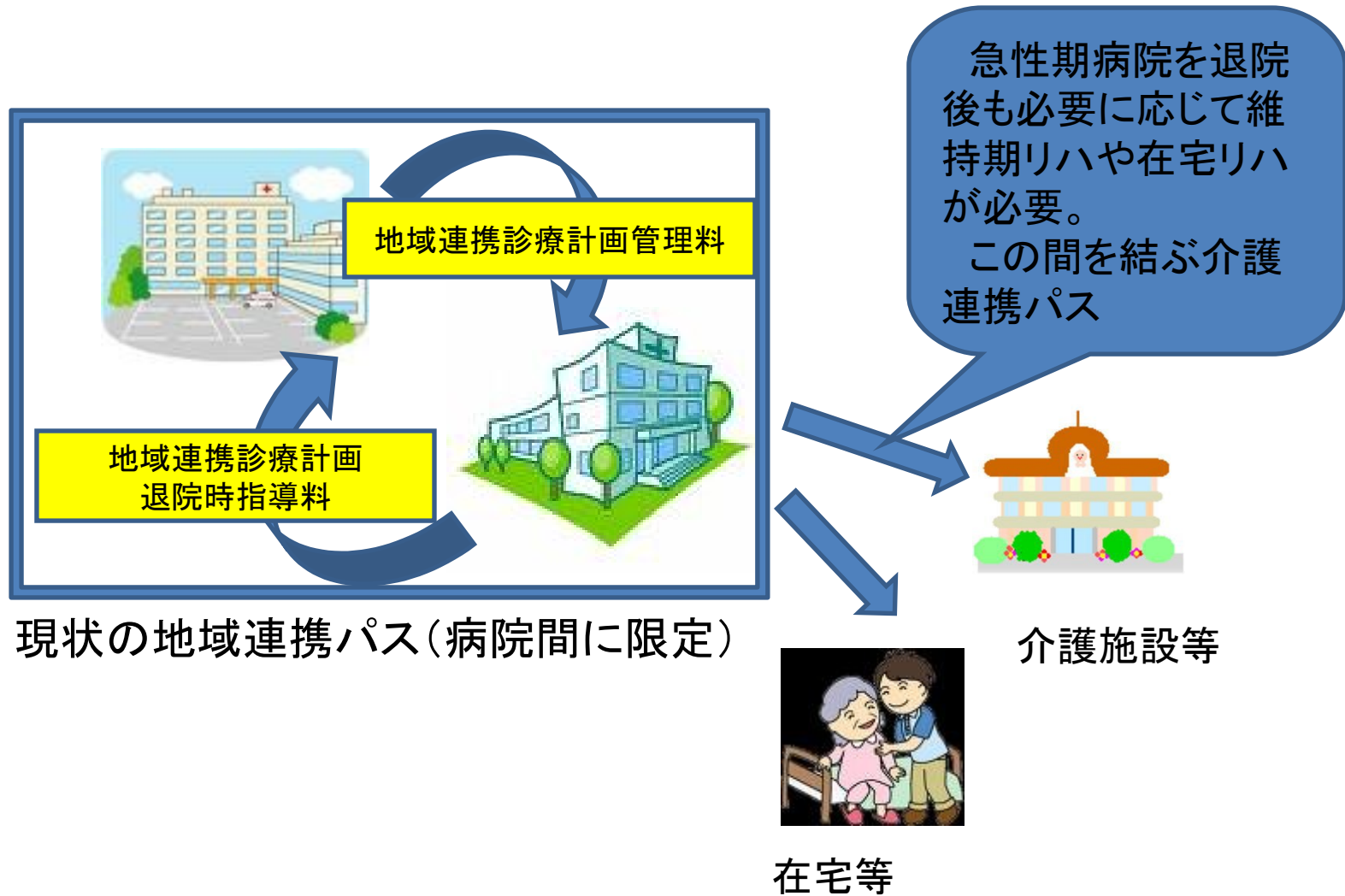
回復期(20施設)

維持期(11施設)

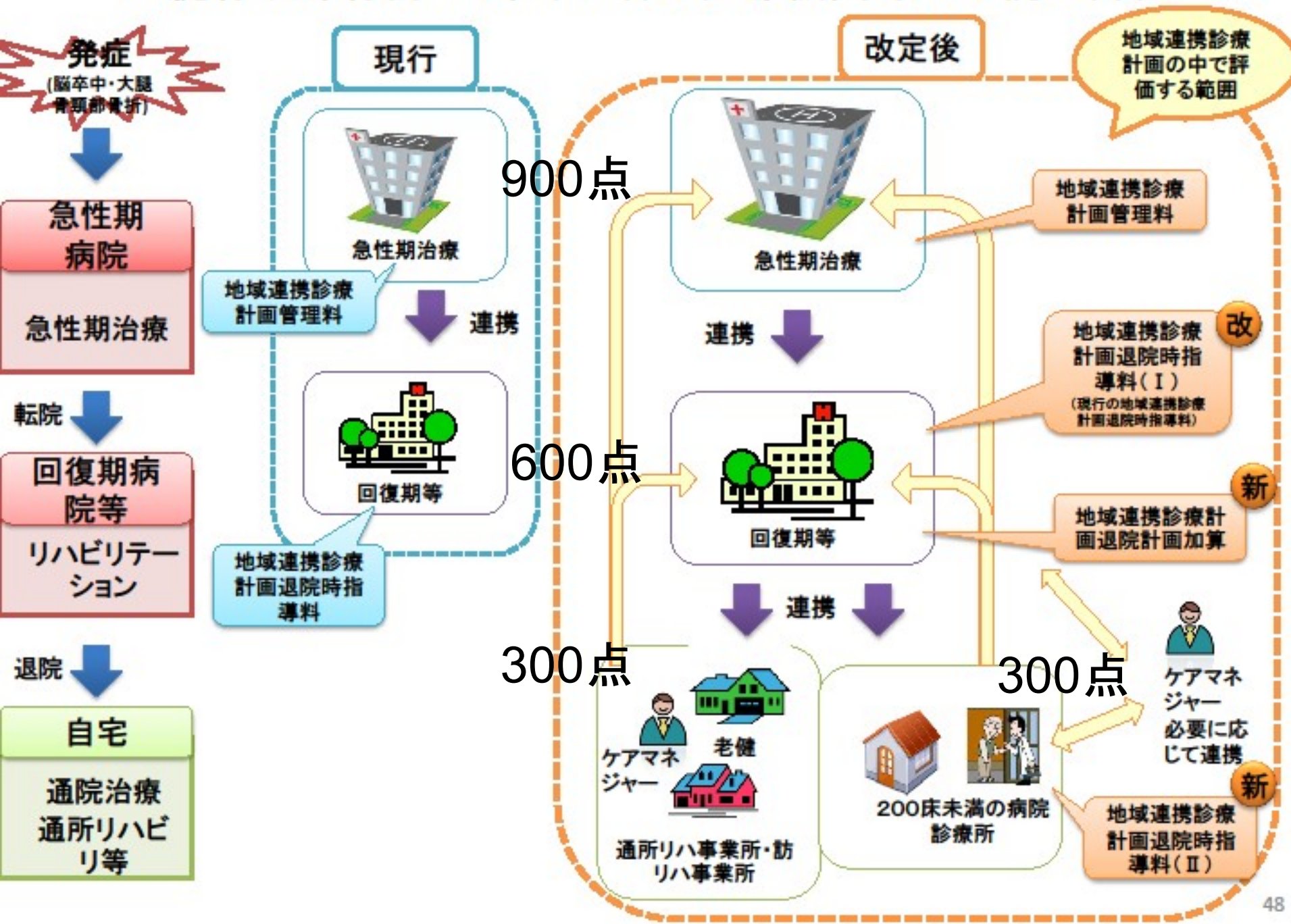
# 10年診療報酬改定 地域連携パスの2つの議論

- ①施設拡大
- ②疾病拡大

# ①地域連携パスの施設拡大



# 大腿骨頸部骨折・脳卒中に係る医療機関等の連携の評価



## ②地域連携パスの疾病拡大

2010年診療報酬改定

がん地域連携パス



# 港区がん連携パス研究会



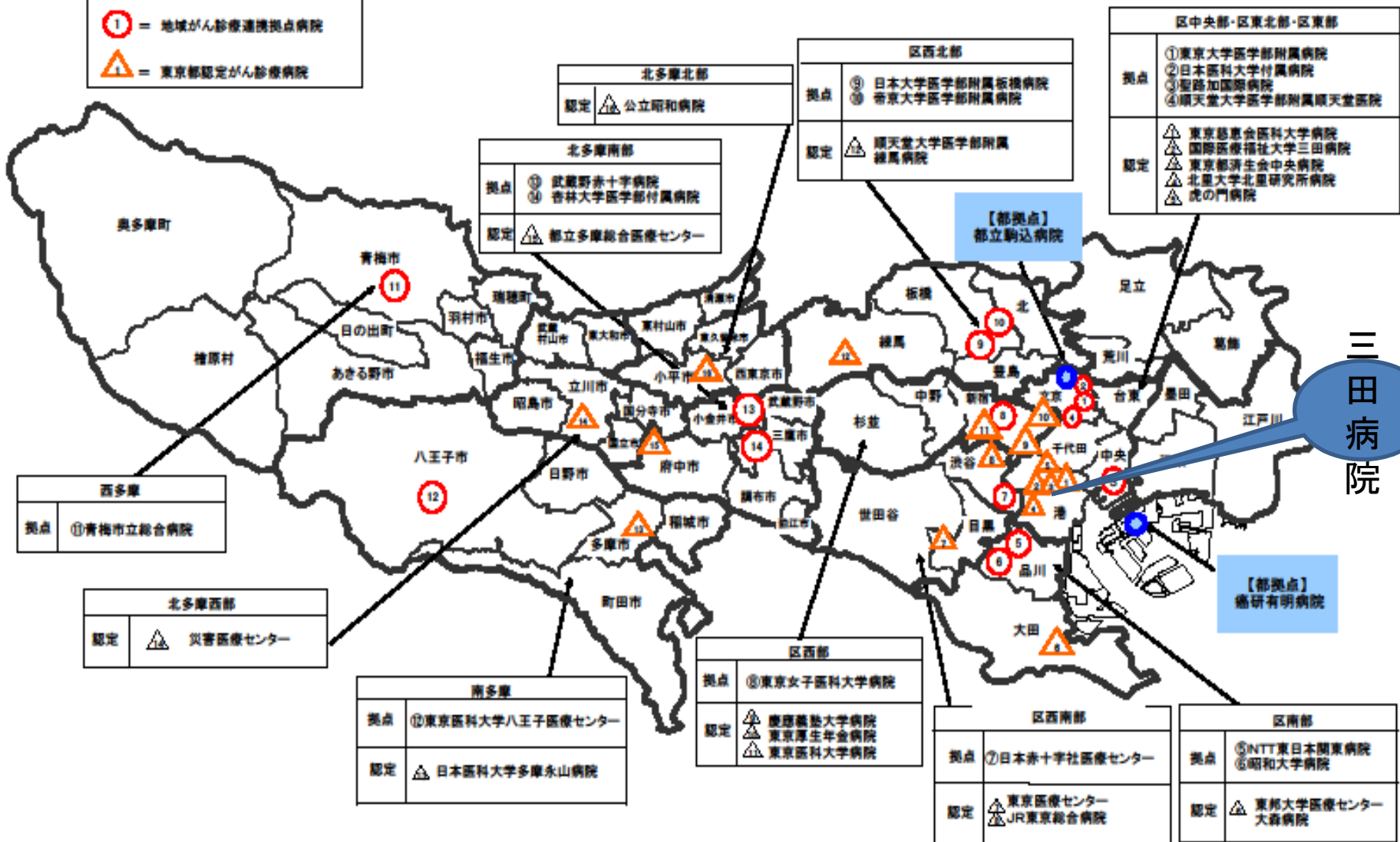
胃がん・大腸がん手術後  
外来経口抗がん剤療法(TS-1)の連携パス

国際医療福祉大学三田病院  
東京都済生会中央病院  
山王病院

# がん診療連携拠点病院・東京都認定がん診療病院整備状況

平成22年4月1日現在

- = 都道府県がん診療連携拠点病院
- ① = 地域がん診療連携拠点病院
- ▲ = 東京都認定がん診療病院



東京都がん診療連携拠点病院は30カ所

# 港区医師会アンケート調査

1. がん患者の診断を行うことがありますか。

- はい  いいえ

2. がん治療の経験はありますか。

- はい  以前所属していた施設で経験がある

↓

どのようながん種の患者さまを診ていますか？（複数回答）

- 胃がん  大腸がん  肺がん  乳がん  肝がん  
 前立腺がん  子宮がん  その他（

3. がん術後フォローアップの病診連携に興味がありますか。

- はい  いいえ

- その他（

4. 検査、診断可能な項目を教えてください。（複数回答）

- 一般血液検査の迅速検査

可能でない→（何日後に結果が出ますか： 日

- 腫瘍マーカー  内視鏡検査  X線  
 エコー  CT  MRI  マ  
 その他（

5. どの程度の状態のがん患者なら逆紹介で受け入れることが可能か。

- 状態の良い、術後フォローのみの患者  
 状態の良い、術後補助化学療法患者（経口抗癌剤）  
 状態の良い、術後補助化学療法患者（注射抗癌剤）  
 状態の良い、進行再発がんの化学療法（経口・注射抗癌剤）  
 終末期の患者（緩和ケアの患者）  
 受け入れられない  
 その他（

6. 術後フォローのがん患者を受け入れた場合の不安な点（複数回答）

- 定期の診断・治療  
 緊急時の対応  
 化学療法の副作用への対応  
 患者のメンタルケア  
 その他（

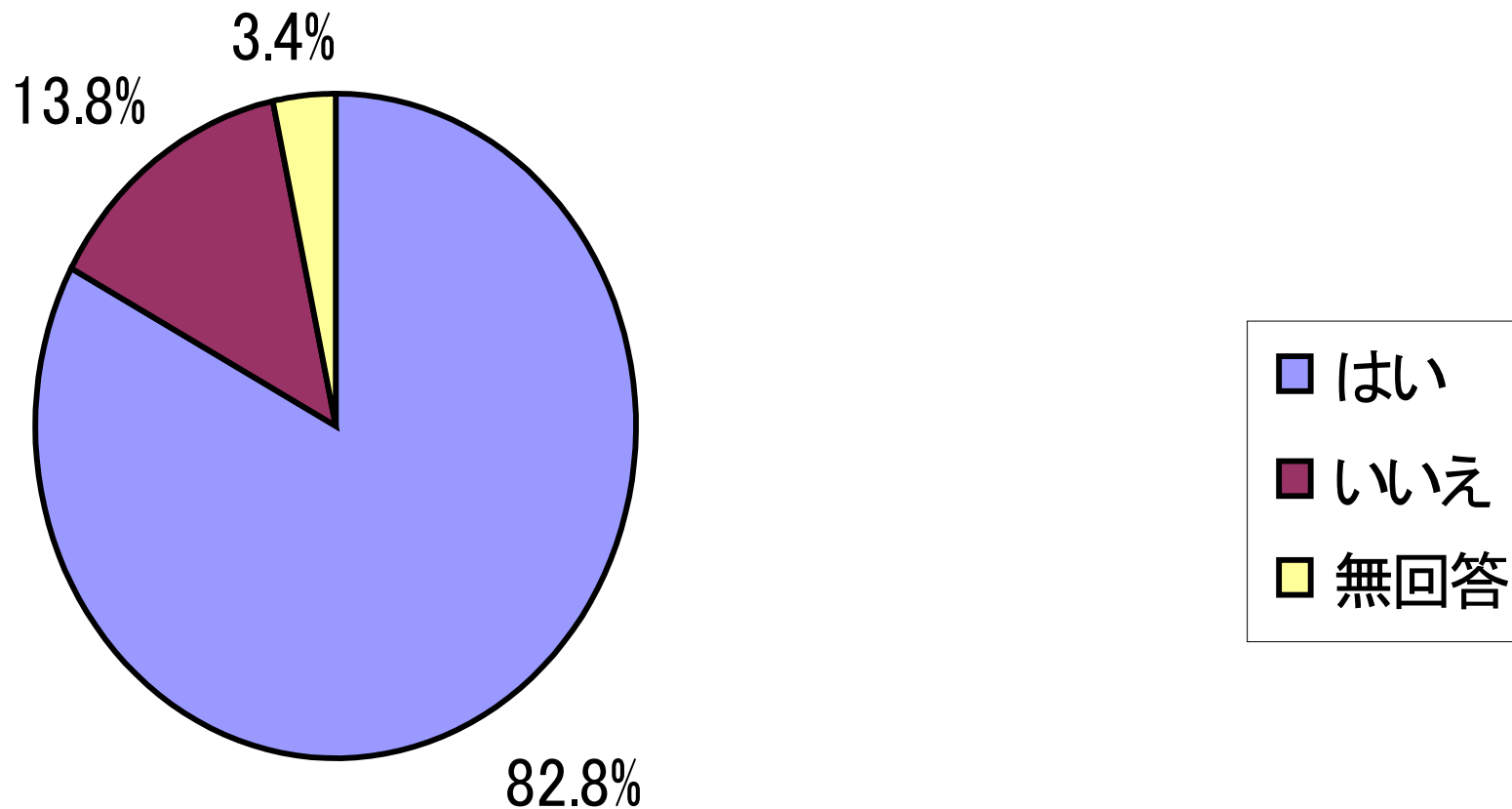
7. 在宅医療、往診を行っていますか。

- はい  いいえ

8. 終末期がん患者を在宅で看取ったことがありますか。

- はい  いいえ

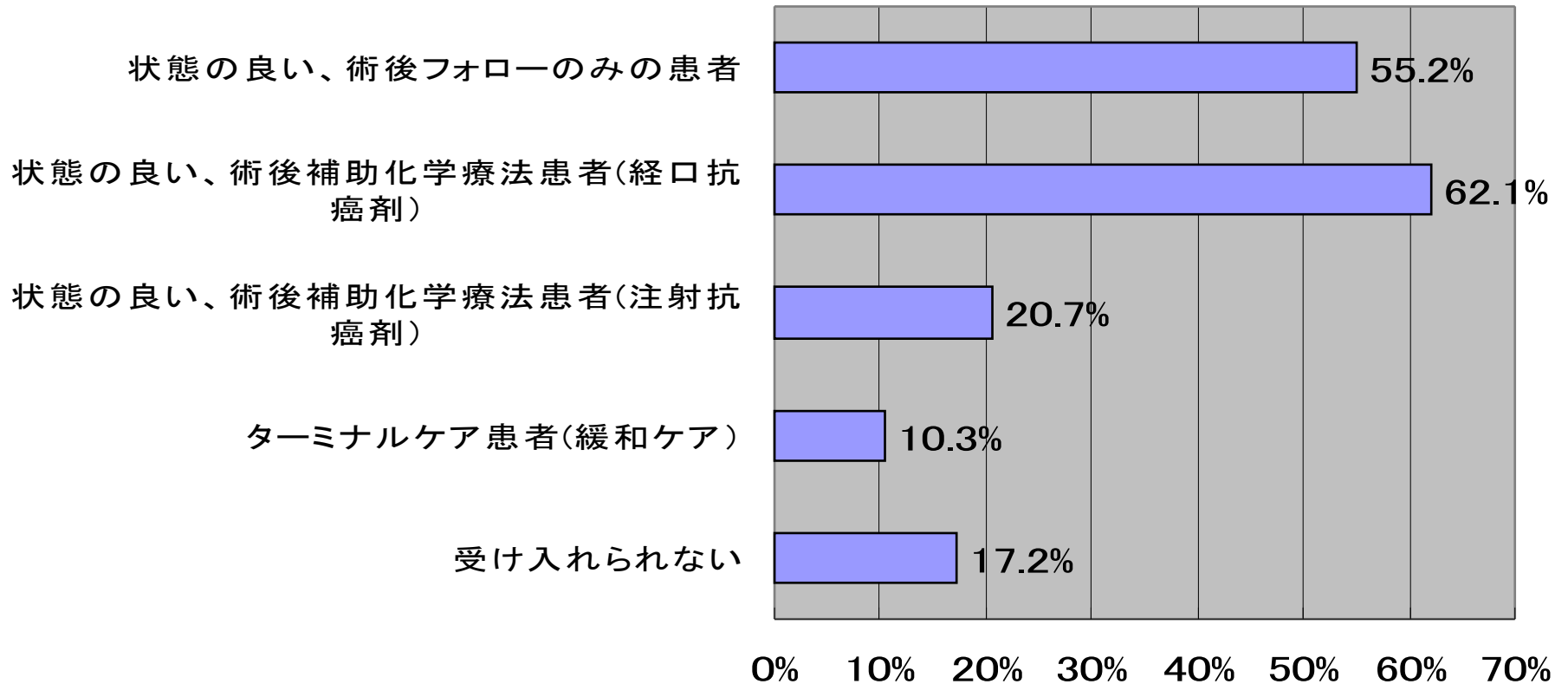
# がん術後フォローアップの病診連携に興味がありますか



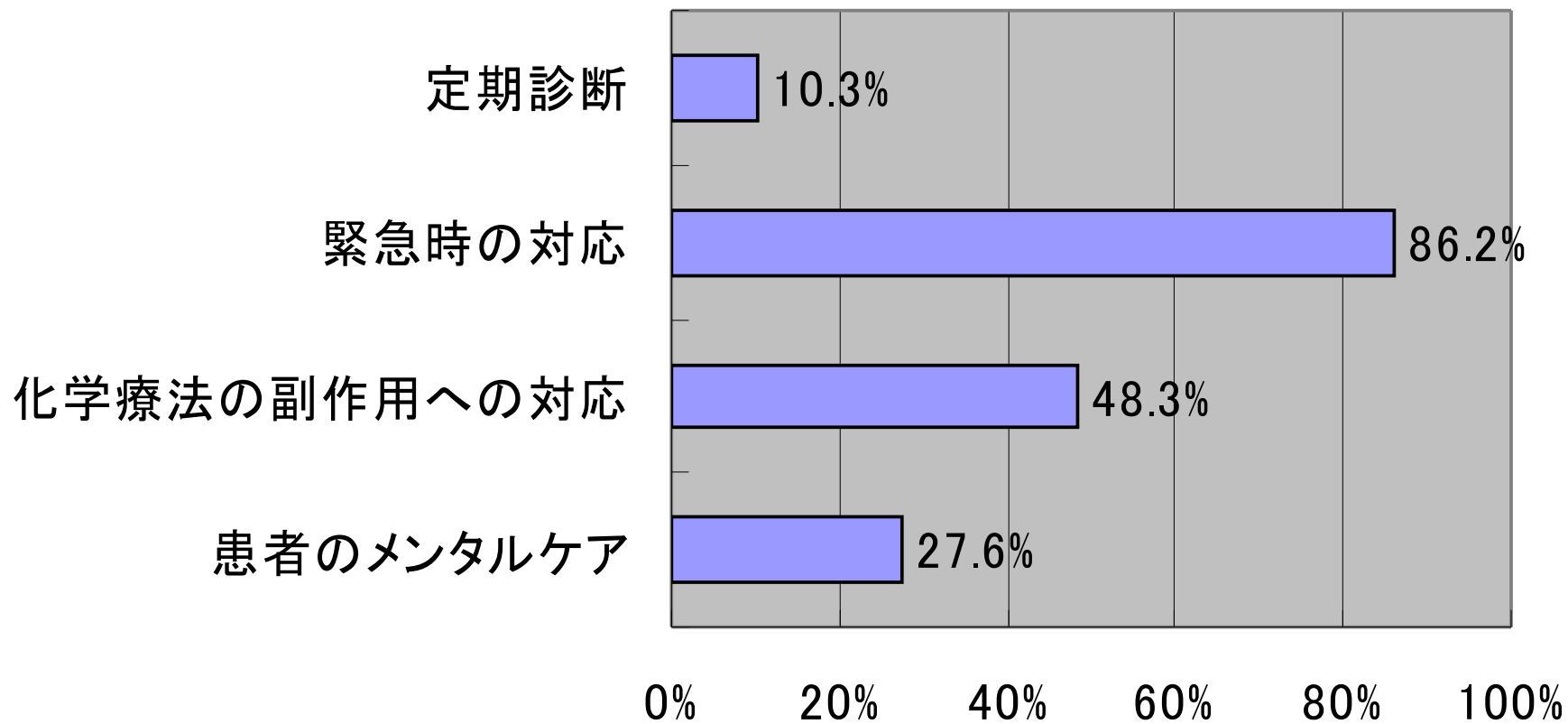
# がん術後のフォローに興味を持つ理由

- 「現在すでにがんのフォローアップ中の患者がいる」
- 「消化器外科に携わっていた経験が役立てられるから」
- 「勤務医時代はがん診療に携わっていたから」
- 「以前は一般外科医だったから」
- 「がん専門施設に勤務していたから」
- 「当院から紹介先で手術を受け、状態が安定した患者さんが再び当院への通院を希望された場合に必要だから」
- 「悪化時にはすぐに受け入れていただける体制になればできるだけ自宅で過ごさせてあげたいから」
- 「患者さんのニーズから」
- 「地域医療の一環として」

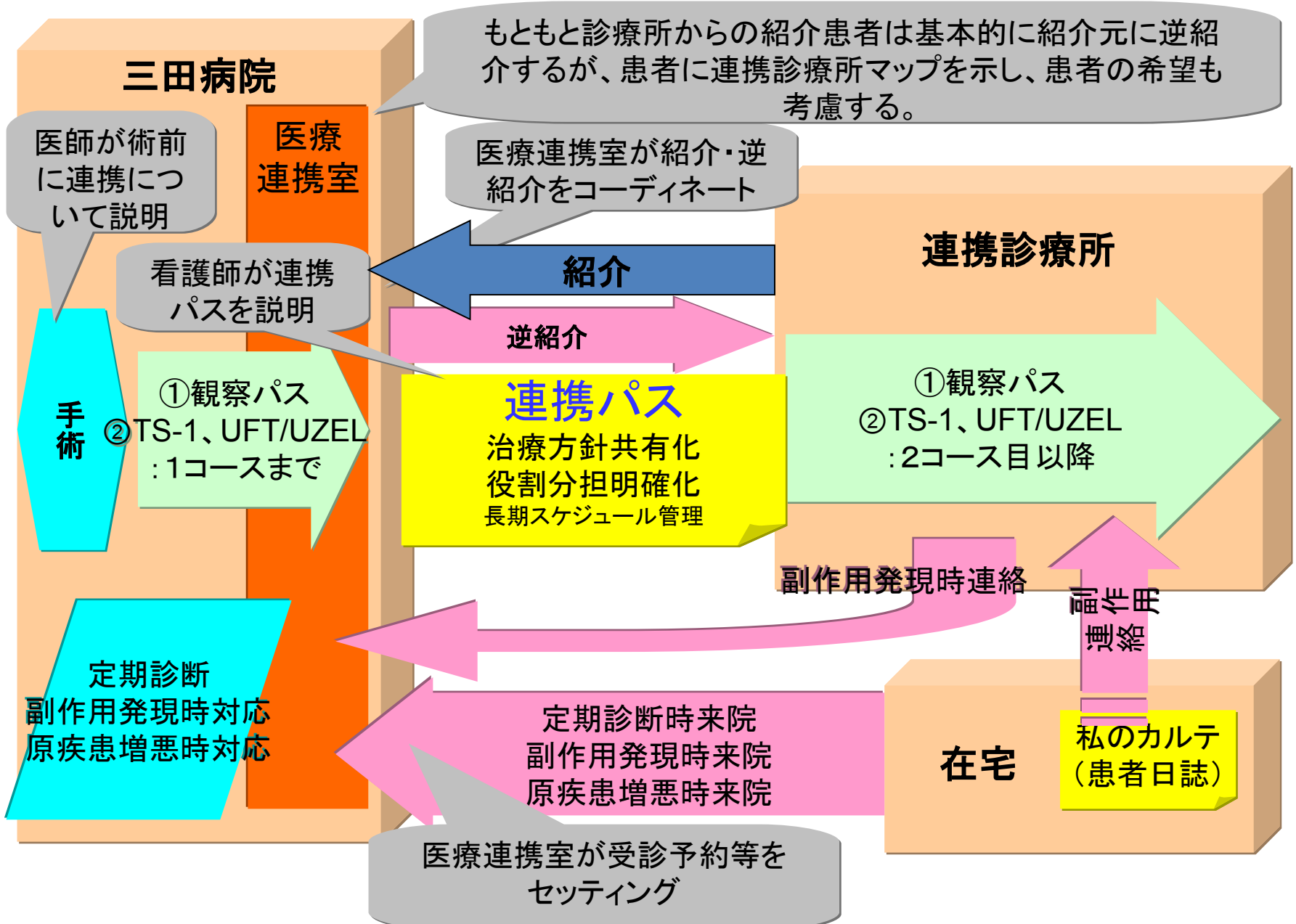
# どんながん患者さんを フォローしたいですか？



# 病院に期待すること



# 胃がん・大腸がん連携パス（まずは観察パスから）







# 港区胃がん連携パス(目次)

- 地域連携パス患者説明書・同意書
- 診療情報提供書
- 連携先医療機関一覧
- 連携元病院情報
- 胃がんステージⅠ 観察パス
- 胃がんステージⅡ・Ⅲ連携パス(TS-1連携パス)
- TS-1適正使用について
- 連携パスの運用方法、紹介・逆紹介の流れ、緊急時の対応(副作用発現時、再発時)
- 連携パスITシステムの紹介
- 病院緊急時連絡先

# 医療者用連携パス（胃がん連携パス）

## 胃癌StageII, III 術後長期連携パス 案

様

〇〇〇〇病院主治医: \_\_\_\_\_ (電話: \_\_\_\_\_)

診療所名: \_\_\_\_\_ 主治医 \_\_\_\_\_ (電話: \_\_\_\_\_)

		〇〇〇〇病院										
		入院	退院	外来	6ヵ月後	1年後	1年半後	2年後	2年半後	3年後	4年後	5年後
達成目標		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
手術		順調な回復										
検査・診断	心電図 腹部X線 腹部超音波 内視鏡 CT MRI	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	紹介	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
連携、連絡 教育・指導	<input type="checkbox"/> 連携説明 <input type="checkbox"/> 治療スケジュール説明 <input type="checkbox"/> 連携パス説明	<b>診療所</b> 再発、副作用発生等の場合、〇〇〇〇病院に連絡										
投薬	チェック 処方 消化器症状 皮膚症状 全身症状 薬物処置	<input type="checkbox"/> 残薬チェック <input type="checkbox"/> 併用薬チェック <input checked="" type="checkbox"/> ITS-1										
検査・測定	PS 血圧 体温 採血 腫瘍マーカー 採尿	2週毎 → 1ヶ月毎 1ヶ月毎 1ヶ月毎										
診療報酬	特定疾患療養管理料(225x2) 診療情報提供料 I (250) 悪性腫瘍特異物質治療管理料(400)											131

# みなとe連携パスに 「がん連携パス」を掲載

みなとe  
連携パス

みなと-e-連携パス

見て下さいね！

<http://medicalnet.minato.jp/peg/>



臼井 一郎先生 港区医師会理事

## 3-2. 新たな機能評価係数(機能評価係数Ⅱ)の 具体的項目(2)

項目	名称	評価の考え方	評価方法
5	地域医療指数	地域医療への貢献による評価	<p>[指数] = 以下の各項目ごとに1ポイントを加算した総ポイント数(0~7ポイント)(平成22年8月より評価)</p> <p>①「脳卒中」について、脳卒中を対象とする「B005-2地域連携診療計画管理料」、「B005-3地域連携診療計画退院時指導料(Ⅰ)」又は「B005-3-2地域連携診療計画退院時指導料(Ⅱ)」を算定している医療機関を評価</p> <p>②「がん」について、「B005-6がん治療連携計画策定料」又は「B005-6-2がん治療連携指導料」を算定している医療機関を評価</p> <p>③「がん」について、地域がん登録への参画の有無を評価</p> <p>④「救急医療」について、医療計画上定められている二次救急医療機関であって病院群輪番制への参加施設、拠点型若しくは共同利用型の施設又は救急救命センターを評価</p> <p>⑤「災害時における医療」について、DMAT(災害派遣医療チーム)指定の有無を評価</p> <p>⑥「へき地の医療」について、へき地医療拠点病院の指定又は社会医療法人認可におけるへき地医療の要件を満たしていることを評価</p> <p>⑦「周産期医療」について、総合周産期母子医療センター又は地域周産期母子医療センターの指定の有無を評価</p>
6	救急医療係数	包括点数では評価が困難な救急入院初期の検査等について、救急患者に占める割合により評価	<p>[指数] = 緊急入院患者と全入院患者の入院2日目までの包括範囲の費用の差額を、医療機関ごとに診断群分類及び救急患者の数に応じて評価</p>

# まとめと提言

- ・DPCの基本はコストマネジメント
- ・医療材料・医薬品のコストマネジメントを！
- ・DPCでは医療連携がますます重要
- ・外来術前検査センターが今後のトレンド
- ・地域連携パスの活用を！

# 地域連携コーディネーター養成講座

- 武藤正樹著・編
- 単行本: 202ページ
- 出版社: 日本医学出版 (20
- 言語 日本語
- ISBN-10: 4902266504
- ISBN-13: 978-4902266504
- 発売日: 2010/4/23
- ￥ 2,940
- 本書は国際医療福祉
- 大学大学院公開講座
- 乃木坂スクール
- 「地域連携コーディネーター養成講座」
- の講師陣により執筆

## 地域連携 コーディネーター養成講座

地域連携クリティカルパスと退院支援

武藤 正樹 国際医療福祉大学人文学部教授



日本医学出版

# がん地域連携クリティカルパス

- がん地域連携クリティカルパス  
—がん医療連携とコーディネート機能
- 編著 日本医療マネジメント学会／監
- 判型 B5 発行日 2010年5月刊
- ページ 220
- 定価(税込) \4,200

## がん地域連携 クリティカルパス

がん医療連携とコーディネート機能

[監修]

日本医療マネジメント学会





# 医療が変わるto2020

- 武藤正樹著
- 医学通信社 5月発売
- A5判 320頁、2400円
- DPC/PDPS, 地域連携, P4P, 臨床指標, RBRVS, スキルミクス, etc
- 5月下旬発刊です！



# ご清聴ありがとうございました



国際医療福祉大学クリニック<http://www.iuhw.ac.jp/clinic/>  
で月・木外来をしております。患者さんをご紹介ください

本日の講演資料は武藤正樹のウェブサイト  
に公開しております。ご覧ください。

武藤正樹

検索



クリック

ご質問お問い合わせは以下のメールアドレスで

[gt2m-mtu@asahi-net.jp](mailto:gt2m-mtu@asahi-net.or.jp)